

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

①担い手・人材育成

(1) 農業トップランナー育成・発展プロジェクト	P1
(2) 農業法人経営発展総合支援プロジェクト	P2
(3) 新規就農者の育成・確保支援プロジェクト	P3
(4) 農業経営効率向上を図る農地集積・集約化促進プロジェクト	P4
(5) 輝くアグリウーマン育成プロジェクト	P5
(6) 林業人材育成プロジェクト	P6
(7) 漁業生産の担い手育成・確保プロジェクト	P7

②土地利用型作物

(8) つや姫をはじめとした県産米の生産・販売戦略プロジェクト	P8
(9) 水稻新品種「山形 112 号」ブランド化戦略プロジェクト	P10
(10) 飼料用米生産・利用拡大プロジェクト	P12
(11) 県産大豆利用拡大プロジェクト	P13
(12) 美しいやまがた「そばの里」づくり推進プロジェクト	P14

③園芸(果樹)

(13) さくらんぼ産地強化プロジェクト	P15
(14) さくらんぼ世界一プロジェクト	P16
(15) さくらんぼ労働力確保プロジェクト	P17
(16) りんご産地再生プロジェクト	P18
(17) 西洋なし産地活性化プロジェクト	P19
(18) ぶどう「シャインマスカット」産地化プロジェクト	P20
(19) 「北の桃源郷ももづくり」産地化プロジェクト	P21

④園芸(野菜)

(20) 土地利用型野菜産地強化プロジェクト	P22
(21) 山形えだまめ日本一産地化プロジェクト	P23

(22) 高収益型野菜産地強化プロジェクト	P24
(23) やまがた次世代型施設園芸推進プロジェクト	P25
(24) 冬の農業活性化プロジェクト	P26

⑤園芸(花き)

(25) 花き生産性向上プロジェクト	P27
--------------------	-----

⑥畜産

(26) 畜産生産基盤強化プロジェクト	P29
(27) やまがたの和牛増頭支援プロジェクト	P30
(28) 山形県産豚肉銘柄推進プロジェクト	P31
(29) やまがた地鶏銘柄向上プロジェクト	P32
(30) やまがた畜産品高付加価値化プロジェクト	P33

⑦環境農業

(31) 環境にやさしい安全農産物生産推進プロジェクト	P34
(32) エコ農産物情報発信力強化プロジェクト	P35
(33) 有機農業の取組拡大プロジェクト	P36

⑧林業

(34) 「やまがた森林ノミクス」推進プロジェクト	P37
(35) 県産木材利用拡大プロジェクト	P38
(36) 木質バイオマス利用促進プロジェクト	P39
(37) やまがた山菜・きのこ日本一産地化プロジェクト	P40

⑨水産業

(38) 豊かな海づくりプロジェクト	P41
(39) 県産水産物の付加価値向上プロジェクト	P42
(40) 庄内浜の魚消費拡大総合プロジェクト	P43
(41) 水産加工業振興プロジェクト	P44

⑩6次産業・流通

(42) 食産業王国やまがた構築プロジェクト	P45
(43) 地域土産品開発等推進プロジェクト	P47
(44) 米粉・加工用米利用拡大プロジェクト	P48
(45) 県内食品製造業による県産農産物等利用拡大プロジェクト	P49
(46) 食育・地産地消県民運動展開プロジェクト	P50
(47) 農林水産業ウーマノミクスプロジェクト	P51
(48) 元気な地域づくり支援プロジェクト	P52
(49) 県産農産物等の販路拡大・ブランド力向上プロジェクト	P53
(50) 雪国山形伝統野菜振興プロジェクト	P54
(51) 県産農産物等輸出拡大プロジェクト	P55

⑪生産基盤

(52) 水田汎用化基盤強化プロジェクト	P56
(53) 低コスト化に向けた基盤整備促進プロジェクト	P57
(54) 農村インフラ機能保全プロジェクト	P58
(55) 中山間地域持続的農地保全推進プロジェクト	P59
(56) 再生可能エネルギー導入推進プロジェクト	P60
(57) 小水力発電活用農村活性化プロジェクト	P61

⑫その他

(58) 鳥獣被害防止対策プロジェクト	P62
(59) 農業災害対策強化プロジェクト	P63
(60) 農業情報発信力強化プロジェクト	P64

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別:①担い手・人材育成

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>農業トップランナー育成・発展プロジェクト【継続】</p> <p>○意欲ある中堅的な農家や組織経営体をトップランナーに育成するとともに、既トップランナーの経営発展を支援</p> <p>【担当課】 農業経営・担い手支援室</p>	<p>①農業トップランナーを戦略的かつ総合的に育成していくための推進母体となるトップランナー育成プロジェクト会議の設置・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育成を加速化するアクションプランの策定、支援情報の共有と育成啓発活動 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○トップランナー育成支援関係の事業説明会を開催(4月) ○トップランナー育成の現状・課題及び今後の方向性を検討するトップランナー育成検討チーム会議(6月・8月・2月・3月)と農業トップランナー育成プロジェクト会議(8月・3月)を開催。 ○トップランナー育成アクションプランを策定(3月) <p>②県・政府の施策のフル活用により、地域農業を牽引するリーダー的農業者の経営発展(規模拡大、低コスト化、新規作物導入等)の取組みを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップランナー育成に特化したオーダーメイド型支援 ・トップランナーを目指す経営体の施設整備・機械導入への優先支援 など <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「元気なトップランナー育成プロジェクト事業」によるオーダーメイド型支援を実施(採択件数:15件) ○各種補助事業を活用した支援を実施。 <p>③経営力向上と法人化・組織経営体育成の加速化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業法人化の啓発やアドバイザー派遣、経営改善指導の強化 ・外部講師を活用した農業経営プランの策定支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○法人化を支援する関係機関や専門家等を対象とした研修会を開催(5/31) ○経営改善に意欲的な認定農業者等を対象とした法人化入門研修・実践研修を実施。(入門研修:庄内 7/28、村山 9/2、最上 9/2、置賜 10/20) (実践研修:村山1~2月 4回、庄内1~2月 4回) ○経営や農業の専門家8名を「法人化アドバイザー」として選定(7月) ○アドバイザーを活用した農業経営プランの策定及び改善指導(15回派遣) 	<p>【H28目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業トップランナー数 ・家族経営体:3,200 ・組織経営体:400 <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族経営体(H28):2,700 ・組織経営体(H28):390 	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気なトップランナー育成プロジェクト事業費 ・経営体育成整備支援事業費 ・中山間地域水田農業活性化事業費 ・戦略的園芸産地拡大支援事業費 ・TPP対策関連園芸産地パワーアップ事業費 <p style="text-align: right;">など</p> <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業法人経営発展総合支援事業費 ・農林大学校生涯教育事業費(やまがた農業経営力養成講座等) <p style="text-align: right;">など</p>	<p>農業トップランナー育成プロジェクト会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別:①担い手・人材育成

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>農業法人経営発展総合支援プロジェクト【新規】</p> <p>○効率的かつ安定的な競争力の高い自立した法人経営体を育成</p> <p>【担当課】 農業経営・担い手支援室</p>	<p>①農業関係機関・団体・農業者組織・専門家等による支援体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県域段階に県農業経営法人化支援協議会(仮称)を、地域段階に地域農業経営法人化支援協議会(仮称)を設置 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県域段階の支援体制として「山形県農業経営法人化支援協議会」を設置(5/31) ○法人化を支援する関係機関や専門家等を対象とした研修会(講演会)を開催(5/31) ○地域段階の支援体制として総合支庁ごとに「法人化支援チーム」を設置(6～7月) <p>②農業経営者の経営力を高め、法人化等の経営発展を目指す経営体を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人化の意義や企業会計の基礎を学ぶ研修会の開催(法人化入門研修) ・法人化を目指す農業経営者を対象に実務研修を実施(法人化実践研修) ・法人化アドバイザー派遣による経営発展支援 ・法人設立後5年間のフォローアップ活動 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経営改善に意欲的な認定農業者等を対象とした法人化入門研修・実践研修を実施。【再掲】 (入門研修:庄内 7/28、村山 9/2、最上 9/2、置賜 10/20) (実践研修:村山1～2月 4回、庄内1～2月 4回) ○経営や農業の専門家8名を「法人化アドバイザー」として選定(7月) ○法人化を目指す農業経営者に対して「法人化アドバイザー」を派遣(35回) ○事業実績や今後の取組みを検討するためのフォローアップ会議を開催(3/14) <p>③地域農業の担い手の育成・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落営農の組織化を推進するとともに、集落営農の法人化に向けた取組み支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集落営農の組織化・法人化に関するメリットや事例について県HPに掲載(4月) ○米のナラシ対策への新規加入や加入面積の拡大に取り組む集落営農組織・法人等における運営経費に対する支援(ナラシ対策加入促進緊急事業) ○経営改善に意欲的な認定農業者(集落営農組織)等を対象とした法人化入門研修・実践研修を実施。【再掲】 (入門研修:庄内 7/28、村山 9/2、最上 9/2、置賜 10/20) (実践研修:村山1～2月 4回、庄内1～2月 4回) 	<p>【H28 目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人経営の認定農業者数:430 法人 <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人経営の認定農業者数(H27):401 法人 	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気なトップランナー育成プロジェクト事業費 ・経営体育成整備支援事業費 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業法人経営発展総合支援事業費 ・ナラシ対策加入促進緊急事業費 	<ul style="list-style-type: none"> ・山形県農業経営法人化支援協議会 ・法人化支援チーム(各総合支庁) ・山形県農業再生協議会(担い手部会)

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別:①担い手・人材育成

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>新規就農者の育成・確保支援プロジェクト【継続】</p> <p>○政府・県の施策を活用し、地域の実情にあわせた新規就農者の確保・定着のためのプログラムの実践</p> <p>【担当課】 農業経営・担い手支援室</p>	<p>①動機付け・就農準備・就農初期の各段階に応じたきめ細やかな支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏等で開催される就農相談会への参加等、就農PR活動の実施 ・アグリインターンシップ(バスツアー、短期体験)による農業体験研修の実施 ・青年就農給付金(準備型、経営開始型)等を活用した就農準備と定着の推進 ・機械設備等に対する助成事業や青年等就農支援資金等による負担軽減支援 ・青年層だけではなく中高年層に対しても自営就農・雇用就農を支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○首都圏で開催された新・農業人フェアでの就農相談(4回) ○農業体験バスツアーを実施(7/24、11/20) ○農業短期体験プログラムを実施(4月～) ○就農相談会を開催(山形 8/28、鶴岡 3/5) ○農業技術普及課による新規就農者を対象としたフォローアップを実施(随時) ○総合支庁・市町村に対する新規就農者関係事業説明会を開催(6/10、8/24、8/25、8/31) ○新規就農者フォーラムを開催(山形 11/30、酒田 3/10) <p>②「地域の担い手は地域で育てる」取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で新規就農者を受け入れ、皆で支える仕組みの推進 (農地や住宅等の就農環境整備の取組みを重点的に検討予定) <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新・農業人フェアでの研修生受入相談(4回) ○短期農業体験希望者の受入れ(4月～) 	<p>【H28 目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者 300 人 <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者(H28)300 人 	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営体育成整備支援事業費 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者確保・育成支援事業費 ・独立就農総合支援事業費 ・農業法人経営発展総合支援事業費 ・地域で育てる担い手育成支援事業 ・農林大学校生涯教育事業費(やまがた農業経営力養成講座等)など 	<ul style="list-style-type: none"> ・山形県農業再生協議会(担い手部会)

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ①担い手・人材育成

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>農業経営効率向上を図る 農地集積・集約化促進プロジェクト【新規】</p> <p>○担い手への農地集積・集約化の促進による生産コストの削減と農業経営効率の向上</p> <p>【主担当課】 農業経営・担い手支援室</p>	<p>①人・農地プランの見直し(内容充実)による地域の合意形成の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中心的担い手と将来の出し手の状況把握の徹底 ・中心的担い手への農地集積率の現状と計画(5年後)の可視化の推進 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域連携推進員の設置(県5名等)によるプラン作成・実行のための調整・助言等。 ○優良事例の取材と市町村への情報提供。 ○課題を抱えている市町村と意見交換を実施(7/19、8/24) ○市町村・農業委員会・JAに対して地域の話合いと本格的プランの作成を要請(7/12) ○市町村との意見交換会を開催(4地域)(10/31、11/8、11/11、11/14) <p>②地域の特色に応じた担い手確保・農地集積の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域における地域内外からの担い手確保と農業所得向上等のモデル的な取組みへの支援 ・樹園地における優良園地の維持・継承、労働力不足の解消、新規就農者の確保、団地化推進に向けたモデル的な取組みへの支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農地中間管理事業の重点実施区域及びモデル地区を指定(重点実施区域:4月1日 85 地区指定、8月1日 109 地区追加指定、モデル地区:4月1日 61 地区指定) ○農林水産省からの通知(H28.8.22)に基づき、関係機関と連携した樹園地における農地集積の取組みを支援(10月～) <p>③農地中間管理機構を活用した農地集積・集約化による経営効率向上の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先行取組事例における経営効率の状況調査・分析 ・農地の基盤整備を契機とした集積・集約化の促進(事業実施地区での集積促進、受け手等が主体となる条件整備への支援) <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○H28 新規着工地区を含む基盤整備事業実施 260 地区を農地中間管理事業の重点実施区域、モデル地区に指定(4月、8月、2月) ○H27 基盤整備事業実施地区の集積状況調査を実施(5月) ○農地集積に取り組んだ地域の担い手の経営状況調査(1月) ○基盤整備事業実施 260 地区の H27 集積状況取りまとめ(3月) 	<p>【H28目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地集積率: 59%(H29.3 月末) <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地集積率: 60.2%(H28.3 月末) 	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業競争力強化基盤整備事業費 ・基盤整備促進事業費 など <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人・農地問題解決加速化支援事業費 ・農地中間管理事業費 ・農地集積推進事業費(機構集積協力金) 	<p>・山形県農業再生協議会(担い手部会)</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別:①担い手・人材育成

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>輝くアグリウーマン育成プロジェクト【新規】</p> <p>○将来の地域農業をリードする役割を担う女性農業者の経営力向上を支援 ○女性の新規就農予定者等に向けて、農業で活躍する女性の魅力を情報発信 ○若い女性農業者の柔軟なネットワークづくりや、農業青年との連携による新たな農業への取組みを支援</p> <p>【主担当課】 農業技術環境課</p>	<p>①アグリウーマン塾の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスプランの策定と実行支援 ・経営管理能力(財務諸表・経営分析・経営戦略・資金繰り等)の向上 ・先進女性経営者でのインターンシップの実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アグリウーマン開塾式・第1回講座を開催(6月10月、11月、12月、1月) ○普及指導員によるビジネスプランの作成を支援。 ○先進女性経営者でのインターンシップの実施(2名) <p>②アグリウーマン優良事例集の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良事例集の配布による女性の活躍事例発信 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アグリウーマン優良事例集(掲載者 10名)を作成(H28.12)し、県内市町村や高等学校、大学等に配布するとともに、首都圏で開催される就農相談会で活用。 ○県が運営する農業情報サイト「やまがたアグリネット」にも掲載し、情報発信。 <p>③青年農業者ネットワーク組織の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業青年・新規就農者等のネットワーク化により、農業青年の経営発展、地域の活性化等を推進 ・地域における若い女性農業者と連携した新たな事業の実施 ・新たな技術・作目等の先導的な導入に向けた先進地視察研修の実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○理事会を開催(2回)、理事研修会を開催(8月) ○全体研修会を開催(12月・2月) ○広報誌を発行(10月、3月) <p>④女性農業者の農作業環境の改善促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業機械操作研修会の開催 ・軽労化機材(アシストスーツ)の活用実証 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アシストスーツの活用実証(5～6月) ○農業機械基礎研修を開催(8月) ○農業機械操作研修を開催(9月) 	<p>【H28目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い女性農業者のビジネスプラン等の実現支援 <p style="text-align: center;">20名</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い女性農業者のビジネスプラン等の実現支援 <p style="text-align: center;">18名(H28)</p>	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輝くアグリウーマン育成事業費 	

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ①担い手・人材育成

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>林業人材育成プロジェクト 【継続】</p> <p>○森林ノミクスを支える人材を確保するため、県立農林大学校林業経営学科を設置し、次世代リーダーを育成するとともに、合わせて林業事業者等の体質の強化を図っていく。</p> <p>【担当課】 林業振興課 農政企画課</p>	<p>①森林ノミクスを支える担い手となる人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28.4 に新たに設置される県立農林大学校林業経営学科の運営 (H28 開設) ・林業経営学科学生を対象とした緑の青年就業準備給付金の給付 (希望者) ・本県独自の「青年林業士」を認定、青年林業士会を創設して林業後継者の指導・育成を支援 ・「緑の雇用」制度を活用し、現場作業班を管理指導するフォレストリーダー養成研修会の開催 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県立農林大学校林業経営学科 15名入校 インターンシップ実施(7月) ○緑の青年就業準備給付金学生ヒアリング審査(7月)、計画書承認(8月) ○青年林業士を認定(7月) ○緑の青年就業準備給付金を交付(9月、12月) ○フォレストリーダー養成研修会を開催(9/12～9/15、10/3～10/7、1/16～1/20) <p>②林業の新規就業者の拡大・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業と林業の組み合わせによる労働力の確保 ・県林業労働力確保センターによる林業就業支援講習会の開催 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○林業就業支援講習会(5日間コース)を開催(6/29～7/2) ○林業就業支援講習会(20日間コース)を開催(9/5～9/22) <p>③林業事業者の体質の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林作業道作設オペレーターの養成研修会の開催 ・森林組合の経営改善実行計画(仮称)の策定とそれに基づく体質強化の実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○森林組合の経営改善実行計画(森林組合運動方針)を策定(～8月) ○森林作業道作設指導者養成研修会を開催(6/28～7/1) ○森林作業道作設オペレーター養成研修会を開催(10/4～10/7) 	<p>【H28目標】 林業就業者数 1,309人</p> <p>【現状】 林業就業者数 (H27)1,102人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業大学校教務費のうち林業経営学科の運営経費(H27.2月補正) ・緑の青年就業準備就業給付事業費 ・「緑の雇用」現場技能者育成推進事業(国⇒県団体) 	

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ①担い手・人材育成

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>漁業生産の担い手育成・確保プロジェクト【新規】 ○就業の動機付けから就業後に至るまでの体系的な支援による漁業就業者の育成・確保 ○現役の漁業者が持続的に経営可能な環境を整備するための代船建造等を支援</p> <p>【主担当課】 水産振興課</p>	<p>① 漁業就業への動機付けや漁業士等浜のリーダー育成 ・中学生や水産高校生を対象とした水産業の理解を深める機会の提供 ・新しい技術の提供・普及などによる先進的な漁業者の育成</p> <p>【主な取組み実績】 ○県内の中学生を対象に少年水産教室を開催し、93名の生徒が参加(8月) ○加茂水産高校の生徒を対象に底びき網の体験漁業を実施し、それぞれ9名の生徒が参加し、本県漁業について理解を深めた(6月) ○加茂水産高校生を対象に定置網の体験漁業を実施し、22名の生徒が参加し、漁獲から選別・箱詰までの一連の作業を体験し、知識を深めた(10月)</p> <p>② 新規就業者に対する技術修得や初期投資、経営開始期への支援 ・漁業で独立経営に必要な漁船漁具の購入など初期投資への支援と漁業就業のために必要な技術習得を支援 ・独立経営開始後の減収補てん対策の実施 ・新規就業者支援に関する各種支援制度のPR活動</p> <p>【主な取組み実績】 ○新規独立漁業者に対して、漁船取得を支援。 ○年度当初には準備研修の希望がなかったが、その後4名から問い合わせがあり、9月から1名が国の長期研修を開始し、12月から1名が県の準備研修を開始。 ○直近3年以内に独立経営を開始した漁業者4名が減収補填対策に参加し、うち要件に該当した1名の減収を補てん。 ○テレビ番組制作やパンフレットの作成・配布による支援制度のPRを支援(3月)</p> <p>③ 老朽化した漁船の更新による生産性の改善と持続可能な漁業経営体育成 【はえ縄等中規模経営体の支援】 ・意欲的な漁業者がトップランナーや準トップランナーとして、本県漁業生産を牽引していくために必要な設備を備えた代船の建造を支援 【底びき網漁業等基幹漁業経営体の支援】 ・漁業構造改革総合対策事業や水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業などの国庫補助事業を活用した漁船整備を支援</p> <p>【主な取組み実績】 ○代船建造に取り組む漁業者を募集し、1名から応募があったものの、工事の実施が29年度となったため、28年度の実績はなし。 ○底びき網等基幹漁業の代船建造については、国のH27及びH28補正予算で計上された漁船リース事業の計画づくりなどの支援を実施。</p>	<p>【H28目標】 ・新規就業者数: 15名</p> <p>【現状】 ・新規就業者数: 7名 (H28)</p>	<p>【ソフト】 ・漁業生産体制強化対策事業費 ・新規漁業就業者総合支援対策事業費 ・持続的漁業経営支援事業費 など</p>	<p>山形県漁業就業者確保育成協議会 水産業の担い手育成プロジェクト会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：②土地利用型作物

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>つや姫をはじめとした県産米の生産・販売戦略プロジェクト【継続】</p> <p>○「つや姫」を県産米ブランド化の牽引役に位置付け、オリジナル品種の導入を含めた県産米全体の生産・販売戦略を展開</p> <p>【担当課】 県産米ブランド推進課</p>	<p>①「つや姫」の高品質・良食味生産体制を前提としたトップブランド米としての評価確立に向けた販促・PR活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要動向を踏まえた戦略的な作付面積の拡大 ・新たなテレビCMを核とした全国でのプロモーション活動の展開 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成 29 年産の作付面積を平成 28 年産から 500ha増加の 9300ha程度に戦略的に拡大。 ○中小規模生産者の特別認定の実施(新規 75 名) ○つや姫栽培技術情報連絡員のスキルアップ等伝達体制の強化。 ○「プレミアムつや姫」産地の支援と育成(9産地) ○美しい「つや姫」コンテストの実施(1月) ○全国の生産者との技術交流(7月) ○つや姫ビジネスモデルの海外へのPR活動(7月:UPOV主催によるASEAN諸国高官の視察の受入) ○新たに制作したCMの放映とトップセールス等とを合わせた効果的なプロモーションの展開。 <p>②「つや姫」に続く品質と食味が期待できる新品種「山形 112 号」のブランド化に向けた戦略の策定 ⇒【水稻新品種「山形 112 号ブランド化戦略プロジェクト」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山形 112 号」ブランド化戦略実施本部会議」を設置し、ブランドコンセプトなどデビューに向けた戦略策定 ・現地試験の実施による高品質・良食味米生産のための栽培マニュアル策定と低コスト生産技術の開発 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山形 112 号ブランド化戦略実施本部会議の開催(6月) ○良食味栽培研修会の実施(4、6月) ○戦略本部及び各部会の開催とブランド戦略策定(2月) ○4ブロック意見交換会の実施(5月) ○WG 会議による生産戦略の検討(6、8、9、12 月) ○実証ほ担当農家等研修会の開催(4、6、12、3月) ○研究プロジェクトチーム会議による栽培マニュアルの検討。 ○収量・品質・食味データの収集と暫定版栽培マニュアルの作成(2月) <p>③生産者・集出荷団体及び市町村・県が一体となった「米どころ山形」のレベルアップを図る米づくり運動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質・良食味安定生産の推進、低コスト・多収栽培技術の導入推進 ・大吟醸用新品種「雪女神」等の生産振興 <p>【主な取組み実績】</p>	<p>【H28目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①つや姫：特A評価獲得 ②一等米比率：日本一 ③つや姫の価格：新潟コシヒカリ以上 ④はえぬき相対価格：全銘柄平均価格以上 <p>【現状】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①つや姫7年連続特 A 評価(H28) ②一等米比率(H28)：95.4%(3位) ③つや姫の価格：新潟コシヒカリ以上を達成 ④はえぬき相対取引価格：全銘柄平均価格の96.7%(H28.9～11月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「山形つや姫」ブランド化推進事業費 ・県産米新品種ブランド確立推進事業費 ・オールやまがた米づくり日本一運動事業費 	<p>山形つや姫ブランド化戦略推進本部</p> <p>山形 112 号ブランド化戦略実施本部</p> <p>オールやまがた米づくり日本一運動推進本部</p>

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
	<ul style="list-style-type: none"> ○育苗巡回(4月)。 ○ラジオによる啓発(3回)、米づくり技術情報による啓発(13回) ○品質向上技術対策会議の開催(7月、8月) ○県産米生産対策WG会議の開催(6、8、9、12月) ○新品種の実証展示ほの設置。 ○適期刈取キャラバンの実施(9月) ○酒造適性米生産振興対策協議会と連携した「雪女神」生産ガイドラインの検討。 ○食味コンクールの開催(3月) ○グットハーベストコンクール(飼料用米等の多収が目的)の開催。 ○直播栽培マニュアルの策定(3月) 			

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ②土地利用型作物

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>水稻新品種「山形 112 号」ブランド化戦略プロジェクト【継続】</p> <p>○「つや姫」に続く品質と食味が期待できる新品種の「山形 112 号」の生産・販売対策の実施</p> <p>【主担当課】 県産米ブランド推進課</p>	<p>①「山形 112 号」の商標登録による知的財産権確保</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○名称の公募(8月1日～31日) ○県民投票(12月22日～29年1月22日) ○名称決定・公表(29年2月16日) 名称「雪若丸(ゆきわかまる)」 <p>②「山形 112 号ブランド化戦略実施本部会議」の設置・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デビューに向けた試食評価、食味分析実施やブランドコンセプト等の戦略策定 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山形 112 号ブランド化戦略実施本部会議の開催(6月24日) <ul style="list-style-type: none"> <議題>デビューに向けた工程、事業計画及び予算、名称決定方法 ○山形 112 号ブランド化戦略実施本部戦略合同部会の開催(10月24日) <ul style="list-style-type: none"> <議題>応募名称の絞り込み、ブランド化戦略(案)、3か年の工程 ○山形 112 号ブランド化戦略実施本部戦略合同部会の開催(29年1月30日) <ul style="list-style-type: none"> <議題>ブランドコンセプト、名称、ブランド化戦略(案)、3か年の工程 ○山形 112 号ブランド化戦略実施本部会議の開催(29年2月16日) <ul style="list-style-type: none"> <議題>ブランドコンセプト、名称、ブランド化戦略を決定 <p>③高品質・良食味米生産のための栽培マニュアル作成に向けた現地試験の実施と低コスト生産技術の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質・良食味米生産のための現地試験の継続 ・省力・低コスト化技術の実証・確立 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○栽培実証ほ設置。 ○4ブロック意見交換会の実施(5月) ○WG 会議による生産戦略の検討(6、8、9、12月) ○計画的種子生産に係る調整会議(8月) ○実証ほ担当農家等研修会の開催(4、6、12、3月) ○研究プロジェクトチーム会議による栽培技術の検討(3回) ○研究プロジェクトチーム会議によるほ場巡回の実施(7、9月) ○良食味試験栽培検討会による栽培マニュアルデータの検討(12月) ○マニュアルデータに係る試験成績検討(1月) ○大区画直播モデルほ場における低コスト化実証試験(2か所) ○収量・品質・食味データの収集。 ○暫定版栽培マニュアルの作成(3月)とマニュアル説明会の開催(3回) 	<p>【H28目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ブランド戦略の構築 ②栽培マニュアルの作成 <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「雪若丸」ブランド化戦略の策定(H29.2.16) ②栽培マニュアル作成(暫定版) 	<p>・県産米新品種ブランド確立推進事業費</p>	<p>山形 112 号ブランド化戦略実施本部</p>

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
	<p>④一般作付種子の増産に向けた体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原原種、原種生産に必要な種子用コンバイン、乾燥機等の整備 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業総合研究センターの種子用コンバイン、乾燥機の調達、種子保管庫の配置の調整。 			

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ②土地利用型作物

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>飼料用米生産・利用拡大プロジェクト【継続】</p> <p>○稲作農家と畜産農家の地域需給マッチングをベースにした飼料用米の生産・利用拡大</p> <p>○飼料用米の多収栽培のメリット措置を活かした稲作農家所得の最大化</p> <p>【担当課】 県産米ブランド推進課 畜産振興課</p>	<p>①地域需給マッチング体制の確立</p> <p>・稲作農家、畜産農家、JA・市町村、飼料会社等からなる地域需給マッチング組織の体制整備による安定的な取引の実現</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○地域需給マッチング協議会が新たに1組織設立。 ○飼料用米の生産から利用までを地域内で行う取組みを開始(1組織)</p> <p>②低コスト多収栽培技術の確立</p> <p>・多収栽培技術の実証と普及、多収性専用品種の育成と種子の確保、産地交付金を活用した多収への取組みの支援</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>〔飼料用米〕</p> <p>○県内 11 か所の多収栽培実証ほを設置し、栽培技術指導と巡回指導を実施するとともに、栽培結果を検証する検討会を実施。</p> <p>○オールやまがた米づくり日本一運動と連携し、飼料用米多収日本一(コンテスト)へ応募(本県から 33 件)した結果、酒田市の佐々木隆氏が全国農業協同組合連合会会長賞を受賞(全国応募件数 448 件)</p> <p>○グッドハーベストコンクール(飼料用米の多収が目的)の開催。【再掲】</p> <p>〔WCS〕</p> <p>○県内4か所の実証ほで現地巡回指導と栽培調査を実施。</p> <p>○家畜の嗜好性調査や稲WCSの収支を試算。</p> <p>○農作物総合検討会にて技術実績を検討。</p> <p>③乾燥・保管・運搬等の掛かり増し経費の軽減</p> <p>・国の補助制度活用した米の乾燥調整施設の再編整備、飼料の加工・保管施設、混合機・粉砕機等の整備、フレコンバッグ、フレコンスケールの導入支援</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○畜産クラスター事業(施設整備)により飼料保管庫等導入を支援(3棟)</p> <p>○飼料用米等生産利用拡大支援事業によりフレコンバッグ導入を支援(6組織)</p> <p>○飼料用米等生産拡大支援事業により飼料用米保管倉庫改修を支援(2件)</p> <p>④生産性と肉質等に影響が出ないような給与技術の確立</p> <p>・飼料用米を最大限活用できる加工・調整・給与技術の開発と普及・定着</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○飼料用米利用拡大シンポジウムを開催し牛・豚への給与事例を紹介(8月)</p> <p>○飼料用米の利用に関する試験研究(膨軟化粳米SGSの加工調製技術等)を実施(畜産試験場、養豚試験場)</p>	<p>【H28目標】 飼料用米の作付面積 ・4,500ha</p> <p>【現状】 飼料用米の作付面積 ・3,840ha(H28)</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼料用米生産拡大支援事業費 ・土地利用型作物競争力強化生産総合対策事業費 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼料用米等生産利用拡大支援事業費 	

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ②土地利用型作物

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>県産大豆利用拡大プロジェクト【継続】</p> <p>○県産大豆の収量・品質の向上と実需者とのマッチングによる県産大豆の利用拡大</p> <p>【主担当課】 県産米ブランド推進課</p>	<p>①「里のほほえみ」の生産拡大によるブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質・多収実証ほの設置 ・生産性向上に向けた H27 実証ほ等のデータを活用した重点指導 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高品質・高収量展示ほを設置(8か所) ○播種作業デモンストレーション(6月) ○刈り取り状況、品質・収量調査。 ○大豆フォーラムを開催(3月) <p>②実需者ニーズに応える品種選定と普及拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シュウリュウ(早生品種)の現地導入・普及に向けた取組み ・有望中粒品種系統の選定 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施肥量、播種時期等の試験を実施(6月) ○普及拡大に向けた展示ほを設置(4か所) ○成績検討会、中粒大豆の加工適性試験を実施。 ○栽培マニュアル策定(3月) <p>③高品質・多収栽培技術の普及拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土づくりとセンチュウ対策強化による県産大豆ボトムアップ対策 ・大豆新技術と地下灌漑システム導入を組み合わせた多収栽培技術の実証 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全農山形との実施内容打合せ(6月) ○実証ほ設置(4か所) ○成績取りまとめと検討会を開催(12月) ○グットハーベストコンクール(大豆の多収が目的)を開催。【再掲】 <p>④「やまがた特選大豆」の産地体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産大豆利用拡大推進会議の運営 ・高品質大豆生産集団と実需者とのマッチング支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「県産大豆利用拡大プロジェクト会議」を開催(7月、11月) ○実需者から意見の聞き取り(随時) ○実需者と生産組織の意見交換(随時) 	<p>【H28目標】</p> <p>「里のほほえみ」栽培面積 2,500ha 単収 170kg/10a 上位等級比率 50%以上</p> <p>【現状】</p> <p>「里のほほえみ」栽培面積 2,448ha(H28) 単収 159kg/10a (H28 農林水産統計) 上位等級比率 54.3% (H28 農水省公表値)</p>	<p>・県産大豆利用拡大プロジェクト事業費</p>	<p>県産大豆利用拡大プロジェクト会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ②土地利用型作物

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>美しいやまがた「そばの里」づくり推進プロジェクト【継続】</p> <p>○県産そばの収量・品質の向上と新品種「山形そば5号」のブランド化に向けた体制整備</p> <p>【主担当課】 県産米ブランド推進課</p>	<p>①県産そば高収量・高品質安定化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結実向上技術等導入による多収実証(みつばち等の放飼) ・検査規格改定に対応した指導体制の構築(検査機器の導入等) <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多収実証ほを設置(8か所) ○検査機器の導入。 ○収量、品質の調査。 ○成績取りまとめ。 ○グットハーベストコンクール(そばの多収が目的)を開催。【再掲】 <p>②優良そば種子の更新体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原種、種子の計画的な生産体制の整備 ・「山形そば5号」の原々種生産と増殖体制の施設整備 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「でわかおり」、「最上早生」、「山形そば5号」の種子生産ほ場を設置(各1か所) ○種子生産体制の整備と種子生産開始。 ○種子生産技術指導を実施。 ○生産者への種子供給。 <p>③県産そばの知名度向上、産地活性化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山形そばプロジェクト会議」を開催し、麺類組合や製粉会社等の実需者意見を踏まえ、県産そばの生産振興と知名度向上を図る。 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実需者との意見交換(随時) ○県産そばの特性を高める製粉方法の検討。 ○「山形そばプロジェクト会議」を開催(3月) <p>④「山形そば5号」のブランド化・普及に向けた体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新品種「山形そば5号」のブランド化・普及に向けた協議会設立 ・「山形そば5号」栽培適応性評価の実施 など <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実需者との意見交換(6月) ○現地適応性調査ほ場を設置(2か所) ○栽培マニュアルを作成(3月) ○普及拡大の体制検討(3月) ○実需による加工適性調査を実施(11月～1月) 	<p>【H28目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単収 70kg/10a ・2等以上比率 80%以上 <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単収 36kg/10a (H28農林水産統計) ・2等級以上比率 98.6% (H27農水省公表値) <p>※H27に農産物検査規格が改正され、「2等級」に簡素化された。</p>	<p>・美しいやまがた「そばの里」づくり推進事業費</p>	<p>山形そばプロジェクト会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：③園芸(果樹)

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>さくらんぼ産地強化プロジェクト【継続】</p> <p>○高品質安定生産と良品出荷の推進 ○大規模化等に対応する省力・軽労化技術の開発と導入推進 ○新興産地での特色ある産地づくりの推進</p> <p>【担当課】 園芸農業推進課</p>	<p>①関係者一丸となって日本一のさくらんぼ産地の強化に取り組む「さくらんぼ産地強化対策推進協議会」の運営</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さくらんぼ産地強化対策推進協議会を開催(3回:4/12、5/17、8/26) ○省力的な防霜対策の導入支援(果樹経営支援対策事業) ○省力的な生産方式に関する試験研究成果報告会の開催(3/17) <p>②産地強化のための重点的な取組み事項の周知と取組みを推進するための「日本一さくらんぼ産地総決起大会」の開催</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本一さくらんぼ産地総決起大会を開催(6/1、ビッグウイング、400名参加) <p>③高品質安定生産によるブランド力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気象変動に対応できる生産技術への改善 ・「日本一おいしいさくらんぼ出荷推進会議」を核とした良品果実出荷の推進 ・「紅秀峰」の高品質生産・出荷によるブランド力強化 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高品質安定生産のための情報提供(8回)、広報キャラバン・研修会開催(随時) ○「日本一おいしいさくらんぼ出荷推進会議」を開催(2回:5/17、8/26) ○産地市場、直売所、沿道販売店等への出荷規格順守のための巡回指導(随時) ○「紅秀峰」の知名度を高めるための「紅秀峰」専用パッケージを作成(3月) <p>④産地構造の変化に対応する新たな生産方式の検討・導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Y字、V字、棚仕立て等省力・軽労的生産方式の開発と導入推進 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○省力的な生産方式導入推進のための研修会を開催(6/23) ○省力的な生産方式に関する試験研究成果報告会を開催(3/17) <p>⑤新興産地(最上地域、庄内地域)における特色ある産地づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質安定生産による産地力の向上と産地PRによる認知度向上 ・既存生産者の規模拡大やさくらんぼ団地育成による産地規模の拡大 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高品質安定生産のための技術展示ほ設置(13か所)、研修会(随時)を開催。 ○産地拡大のための団地化推進や新たな生産者の掘り起こし。 ○最上地域のさくらんぼ生産者の技術向上を目指した「もがみさくらんぼ品評会」を開催(6/23) ○観光さくらんぼ園おもてなし力アップのためのマニュアル作成(3月) 	<p>【H28目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①さくらんぼ生産量: 14,000t ②さくらんぼ産出額: 330億円 <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①H28さくらんぼ生産量: 15,000t ②H26さくらんぼ産出額: 332億円 	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的園芸産地拡大支援事業費 ・TPP対策関連園芸産地パワーアップ事業費 ・果樹農業好循環形成総合対策事業 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新さくらんぼ産地強化プロジェクト事業費 	<p>さくらんぼ産地強化対策推進協議会</p> <p>日本一おいしいさくらんぼ出荷推進会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ③園芸(果樹)

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>さくらんぼ世界一プロジェクト【拡充】</p> <p>○世界最先端技術を生かした超大玉品種(4L)による「山形さくらんぼ」の世界ブランド確立</p> <p>○ロボット収穫による次世代型さくらんぼ栽培システムを確立し、さくらんぼ大規模生産の実現</p> <p>【担当課】 農業技術環境課</p>	<p>①「さくらんぼ世界一プロジェクト推進会議」の開催</p> <p>・プロジェクト戦略、事業計画および取組み内容についての検討</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○「大規模化・軽労化部会」を開催(6月)し、さくらんぼの省力・軽労的生産方式の仕立て方と収穫ロボットの開発状況について検討。</p> <p>○「流通・販売部会」を開催(6月)し、「紅秀峰」のブランド化やさくらんぼの海外輸出の取組みについて検討。</p> <p>○「品種開発・生産技術部会」を県内と都内で開催(6月)し、大玉の有望選抜系統「山園C12号」の試食求評を実施。</p> <p>○山形さくらんぼ世界一プロジェクト推進会議を県庁で開催(10月)し、世界に通用する「山形さくらんぼ」のブランド化を推進するため、取組方策について検討。</p> <p>②世界に類を見ない超大玉品種の育成・大玉生産技術の開発</p> <p>・有望選抜系統(山園C12号)の普及性を継続検討</p> <p>・超大玉安定生産技術の開発に向けた摘芽・摘芯・剪定・施肥方法を検討</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○「山園C12号」について、現地ほ場の果実等による特性検討会を開催(6月)</p> <p>○「山園C12号」について、奨励品種決定調査検討会を開催(12月)、品種登録に向けて検討を継続。</p> <p>○超大玉品種及び超大玉生産技術の開発について研究成果を検討(2月)</p> <p>③収穫ロボットの開発とそれを可能とする次世代型生産システムの開発</p> <p>・山形大学で試作したロボットパーツの収穫作業時における動作検証</p> <p>・ロボット収穫に適する樹形における果実品質・収量性等の評価</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○ロボットアーム部・ハンド部を試作し、マニュアル操作で収穫作業の実験を実施(6月)</p> <p>○ロボットアイ(画像認識)部とアーム部、ハンド部を組み合わせた自動収穫ロボットを試作。</p> <p>○ロボット収穫に対応した仕立て方の開発について研究成果を検討(2月)</p> <p>④小口輸出(国際宅配)に対応した輸出システムの開発</p> <p>・国際宅配便による小口輸出のテスト実証および海外顧客等による評価</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○台湾高雄市までの国際クール宅急便の輸送試験とお土産用さくらんぼの台湾旅行会社等でのアンケート調査を実施(6月:発送、7月:アンケート4社、7月:品質調査)</p> <p>○県産さくらんぼに対する台湾富裕層へのアンケート調査を実施(6月:発送、7月:アンケート12名)</p>	<p>【H28目標】</p> <p>・さくらんぼ輸出量(小口輸出も含む): 800kg</p> <p>【現状】</p> <p>・さくらんぼ輸出量(小口輸出も含む):</p> <p style="padding-left: 20px;">H26:199kg, H27: 656kg</p> <p style="padding-left: 20px;">H28:1.2t</p>	<p>【ソフト】</p> <p>・さくらんぼ世界一プロジェクト事業費</p>	<p>さくらんぼ世界一プロジェクト推進会議(品種開発・生産技術部会、流通・販売部会、大規模化・軽労化部会)</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：③園芸(果樹)

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>さくらんぼ労働力確保プロジェクト【新規】</p> <p>○モデル地区において各種トライアルを重ね、「山形方式労働力確保システム」の構築</p> <p>○構築した「山形方式労働力確保システム」の他品目・他産地への波及</p> <p>【担当課】 園芸農業推進課</p>	<p>①「さくらんぼ労働力確保推進協議会」及び「さくらんぼ労働力確保プロジェクト会議」の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者一丸となってさくらんぼの労働力確保を推進するための推進方策等の検討 ・生産者が必要とする人材の数、期間、作業内容等の調査の実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さくらんぼ労働力確保推進協議会において、今年度の取組計画等を検討(4/26) ○生産者に対する労働力確保状況に関するアンケート調査(8/中) ○さくらんぼ労働力確保プロジェクト会議における今年度の取組みの評価・検証(11/29) <p>②モデル地区における労働力確保に向けた多様なトライアルへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業に勤務する農家の家族が農繁期に年次有給休暇を取得しやすい環境整備 ・産地を支える企業等の組織労働力の活用 ・子育て中の女性やシニア等の地域の潜在労働力の活用 ・さくらんぼ作業に関心の高い社会人・学生等の仙台圏からの人材確保 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さくらんぼ産地を支える「さくらんぼ産地サポーター企業」の参加募集(18社) ○さくらんぼ農家ででのアルバイト等の作業従事者に対する特産品進呈事業「さくらんぼーナ」を実施(寒河江市、実績675名) ○「猫の手援農隊(農協観光と連携した援農ボランティア)」の受け入れ(東根市、10名) ○さくらんぼ作業従事者等の確保のためのPR。 <ul style="list-style-type: none"> ・農林漁業専門就職支援情報サイト「一次産業ネット」による募集(求職31名→雇用17名) ・仙台圏での新聞への折り込みチラシ(10万部)や仙台市内公共施設でのチラシ配布(1,190部)(求職42名→雇用27名) ○さくらんぼ管理作業ボランティアを実施。(県職員78名、JAグループ237名、農業大学校学生会9名) ○子育て中の女性の潜在労働力把握のためのアンケート調査の実施(寒河江市、5月) <p>③質の高い新たな労働力確保に向けた技術習得のための研修機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル地区における新たな労働力発掘のための収穫・出荷作業研修会開催 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○仙台圏居住者を対象とした収穫・管理作業研修会を開催(天童市・東根市、5/28) ○女性を対象とした「さくらんぼ手詰め研修会」を開催(寒河江市、6/2・5) ○被雇用者を対象とした収穫前の栽培管理講習会を開催(園芸試験場 5/16、東根市 2/14、天童市 2/22) 	<p>【H28目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①モデル地区における不足労働力割合:10% ②人材確保対策モデルの構築:2件 <p>【現状】(H28)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①モデル地区における不足労働力割合:27% ②人材確保対策モデルの構築:2件 	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新さくらんぼ産地強化プロジェクト事業費 ・援農隊マッチング支援事業 	<p>さくらんぼ労働力確保推進協議会</p> <p>さくらんぼ労働力確保プロジェクト会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ③園芸(果樹)

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>りんご産地再生プロジェクト【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ファーストレディ」、「秋陽」の品質の高位平準化と消費地での知名度向上の取組みの展開 ○「ふじ」の優良系統探索によるブランド力強化 ○省力・軽労的な生産方式による園地の若返り推進 <p>【主担当課】 園芸農業推進課</p>	<p>①優良品種の産地化促進と市場評価の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ファーストレディ」、「秋陽」の商品果率向上にむけた実証ほの設置や研修会の開催 ・試食PRや市場求評等の知名度向上のための取組み <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商品果率向上技術に向けた実証ほを設置(10か所) ○技術向上のための研修会、園地巡回指導を開催(6/13、7/25) ○栽培技術情報を提供する「ファーストレディ通信」を発行(7回) ○県統一共選出荷に向けての目揃い会を開催(8/16) ○消費地市場、仲卸等への品種特性の周知とPR(東京都大田市場、8/19) ○「秋陽」の良食味出荷と販売方針を協議する戦略会議を開催(9/8) ○「秋陽」良食味出荷のための収穫期検討会を開催(9/14) <p>②りんご早生・中生の商品果率向上技術の開発(試験研究)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ファーストレディ」のみつ症果、さび果、青実果発生防止技術の開発 等 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障害果(みつ症果・日焼け果・さび果)発生防止技術のための資材の検討(園芸試験場) <p>③「ふじ」優良系統の選定・導入と新たな生産方式の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふじ」優良系統の選抜や産地で導入されている省力・軽労的な生産方式の検討会等を実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふじ優良系統(6系統)の栽培特性の調査・検証(園芸試験場) ○おい性台木を活用した省力・軽労的な生産方式の検討会を開催(3/15) <p>④老木園の若返りによるりんご産地基盤強化技術の開発(試験研究)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老木園の改植技術(早期成園化、耐雪性)の開発。 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○おい性台木を活用した早期開心形による園地若返りのための改植技術の研究(園芸試験場) 	<p>【H28目標】 「ファーストレディ」栽培面積: 100ha</p> <p>【現状】(H28) 「ファーストレディ」栽培面積: 73ha</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的園芸産地拡大支援事業費 ・果樹農業好循環形成総合対策事業 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りんご産地再生化プロジェクト事業費 	<p>「ファーストレディ」研究会</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ③園芸(果樹)

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>西洋なし産地活性化プロジェクト【継続】</p> <p>○「ラ・フランス」の食味重視の生産・出荷・販売やピールカット等の加工品開発による消費拡大</p> <p>○「メロウリッチ」のブランド化のための生産・販売活動の展開</p> <p>【主担当課】 園芸農業推進課</p>	<p>①関係者一丸となって「ラ・フランス」の消費拡大とブランド力強化に取り組む「ラ・フランス振興協議会」の運営</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食味重視の販売を推進する「ラ・フランス振興協議会」を開催(9/13、9/29、2/9) ○ラ・フランスだよりによる消費地への生育情報の提供(5/18、9/13、9/27、11/4) <p>②生産性向上のための取組み強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るい園地づくりの推進と、胴枯病対策の徹底 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産性向上のための樹体管理研修会を開催(各産地) ○胴枯病発生状況調査と対策実証展示ほの設置による対策の普及(上山市、天童市、東根市) ○西洋なし胴枯病被害防止対策プロジェクト研修会を開催(3/15) <p>③消費拡大のための食味重視の生産・出荷・販売と消費地PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「統一販売開始基準日」の設定と消費地におけるPRの強化 ・消費地量販店担当者を対象とした食べ頃判定に関する研修会の開催 ・食味を重視した追熟管理技術と気象変動対応技術の開発(試験研究) ・ピールカット果実に関する研究(試験研究) <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食味重視のラ・フランス生産のための研修会を開催(各産地で随時) ○良食味出荷のための収穫適期判定会を開催(9/26) ○消費地量販店を対象とした食べ頃判定研修会を開催(東京 10/13、大阪 10/15) ○食味を重視した追熟管理技術を開発(試験研究) ○実需者を対象としたピールカット技術を確立(試験研究) <p>④「メロウリッチ」の産地化とブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高級果実店をターゲットにした生産・販売と消費地におけるPR ・「メロウリッチ」の高品質栽培体系の開発(試験研究) <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○栽培面積の拡大と高品質果実生産を推進するための研究会を開催(4/7) ○高品質果実生産のための展示ほの設置(4か所)と研修会・園地巡回を開催(4/7、8/4) ○良食味果実生産のための適期収穫を推進(果実調査、収穫適期判定会 9/12) ○首都圏の果実専門店、百貨店における品種特性の周知PRの実施(10/7) ○高品質果実生産のための研究会を開催(3/15) 	<p>【H28目標】</p> <p>①「ラ・フランス」の単価： 350 円/kg</p> <p>②「メロウリッチ」の栽培面積 30ha</p> <p>【現状】(H28)</p> <p>①「ラ・フランス」の単価： 318 円/kg</p> <p>②「メロウリッチ」の栽培面積 24ha</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的園芸産地拡大支援事業費 ・果樹農業好循環形成総合対策事業 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新西洋なし産地活性化プロジェクト事業費 	<p>「ラ・フランス」振興協議会</p> <p>「メロウリッチ」研究会</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：③園芸(果樹)

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>ぶどう「シャインマスカット」産地化プロジェクト 【継続】</p> <p>○品質の高位平準化と戦略的な販売・PR活動の展開 ○産地間競争に勝ち抜くための早急な産地拡大</p> <p>【主担当課】 園芸農業推進課</p>	<p>①関係者一丸となって産地づくりを推進するための「シャインマスカット」プロジェクト会議の運営</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○面積拡大、高品質果房生産推進のためのプロジェクト会議を開催(5/10、1/27) ○庄内地域での導入を推進するための研修会を開催(9/1) <p>②産地戦略や栽培技術の共有を促す「シャインマスカットフォーラム」の開催</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○フォーラム開催に向けた優良事例調査を実施(置賜普及課) ○高品質生産を推進するためのフォーラムを開催(南陽市民会館、11/17) <p>③長期貯蔵・長期販売技術の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期貯蔵・販売を拡大するための研修会の開催 ・マニュアルを活用した長期貯蔵技術の定着、産地における貯蔵法の実証 ・長期出荷産地のブランド強化に向けた市場PRやテスト販売の実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高品質な長期貯蔵果房生産のため、生産者を対象とした研修会の開催(5/10、6/30) ○長期貯蔵技術の定着に向けた研修会を開催(10/5) ○長期貯蔵技術向上のための巡回指導を実施(11/21、22) ○貯蔵果房のブランド化に向けた首都圏での販売PR活動の実施(12/14) <p>④高品質安定生産技術の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質果実生産の実証ほ設置 ・全県を対象とした栽培研修会の開催、巡回研修会の開催 ・市場が求める果房生産のための果房管理パンフレットの作成・配布 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高品質果房生産普及のための実証展示ほの設置(5か所) ○高品質果房生産のための研修会と園地巡回の実施(5/10、6/30、8/1) 	<p>【H28目標】</p> <p>①シャインマスカット栽培面積： 150ha</p> <p>②シャインマスカット生産量： 1200t</p> <p>【現状】(H28)</p> <p>①シャインマスカット栽培面積： 123ha</p> <p>②シャインマスカット生産量： 1,010t</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的園芸産地拡大支援事業費 ・TPP対策関連園芸産地パワーアップ事業費 ・果樹農業好循環形成総合対策事業 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶどう振興プロジェクト事業費 	<p>シャインマスカットプロジェクト会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別:③園芸(果樹)

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>「北の桃源郷ももづくり」 産地化プロジェクト【継続】</p> <p>○有望晩生品種の栽培体系の確立 ○総合的な樹体枯死対策の展開による早急な産地拡大</p> <p>【担当課】 園芸農業推進課</p>	<p>①「北の桃源郷ももづくり」プロジェクト会議の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録商標「北の桃源郷」を活用したブランド化の推進 ・市場求評、PRによる県産晩生ももの知名度向上 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○晩生品種の生産推進と販売に向けて、「北の桃源郷ももづくり」プロジェクト会議を開催(5/12) ○有望晩生品種の市場求評と販売PR活動の実施(全農山形主催 9/12) ○晩生品種の販売戦略検討会を開催(全農山形主催 3/6) <p>②有望晩生品種の産地づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな有望晩生系統選定のための現地調査ほの設置 ・新しい栽培方式(雨よけ)による安定生産実証ほの設置 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新たな有望晩生系統の選定に向けて、調査ほ(5か所)を設置して評価検証を実施(7/28) ○新しい栽培方式(雨よけ)の検討のための実証ほの設置(3か所) <p>③樹体の枯死対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枯死対策実証ほの設置と研修会等の開催 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○枯死対策技術の普及に向けた実証ほの設置(6か所) ○枯死対策プロジェクト会議による現地研修会を開催(7/28、8/25) 	<p>【H28目標】 晩生種の栽培面積:280ha</p> <p>【現状】(H28) 晩生種の栽培面積: 188ha</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的園芸産地拡大支援事業費 ・果樹農業好循環形成総合対策事業 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北の桃源郷ももづくり」プロジェクト事業費 	<p>「北の桃源郷」ももづくりプロジェクト</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：④園芸(野菜)

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>土地利用型野菜産地強化プロジェクト【継続】</p> <p>○水田転換畑への園芸作物(ねぎ・にら・アスパラガス等)の導入の加速化</p> <p>○土地基盤の整備(水田畑地化)と機械化体系導入による生産性の向上</p> <p>○地域内マッチングによる加工・業務用野菜産地育成</p> <p>【担当課】 園芸農業推進課</p>	<p>①土地利用型野菜の産地拡大・強化のためのプロジェクト会議の設置・運営</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産地拡大に向けた推進方向を検討するためにプロジェクト会議を開催(5/17) ○アスパラガス、加工キャベツを主体とした現地検討会を開催(9/8) ○実証の成果等を検討するプロジェクト会議を開催(11/28) <p>②アスパラガスの長期安定生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半促成栽培技術実証 ・改植技術の開発 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経営評価を含めた日射制御型拍動灌水技術の効果を実証に取り組み、単収の増加による収益性の向上を解明し、技術を普及推進(置賜農業技術普及課) ○生産性が低下した園地の改植を早急に実施するとともに、連作による生育阻害の軽減法を解明し、技術の普及を推進(最上産地研究室) <p>③ねぎの大規模多収生産技術の開発</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○業務用ねぎの省力多収栽培体系を検討し、収量を 5t/10a(県平均 3.5t/10a)以上を可能にする品種の選定と栽培方法を確立(園芸試験場) <p>④最上にらの春夏期生産拡大技術の開発</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○春どりと夏どりの生産性の高い品種選定を検討し、春どり優良品種の絞込みと夏どり優良品種を選定(最上産地研究室) <p>⑤にんにく安定生産技術の開発</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最上在来系統と一般品種の安定生産に向けて、施肥と作型など栽培方法を確立する現地実証試験(最上町)を実施(最上産地研究室) <p>⑥加工・業務用野菜の産地化推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約取引拡大に向けた実需者との情報交換会の開催 ・たまねぎ高収益安定生産技術の開発 ・加工用なすの品質・生産性の向上 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域内の加工業者との契約拡大に向けた情報交換を実施するとともに、「国産野菜の契約取引のマッチングフェア(11/15、16)」に参加し、契約の拡大を支援。 ○たまねぎのリン酸施用による生育促進技術と収穫後の保存性向上技術の体系を検討(置賜産地研究室) ○「薄皮丸なす」の収量性の高い品種育成を図るため、優良系統の特性の調査・検証(園芸試験場) 	<p>【H28目標】</p> <p>ねぎ、にら、アスパラガス</p> <p>生産量 20,690t 産出額 62 億円</p> <p>【現状】(H27)</p> <p>ねぎ、にら、アスパラガス</p> <p>生産量 14,040t(H27) 産出額 50 億円(H27)</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的園芸産地拡大支援事業費 ・TPP対策関連園芸産地パワーアップ事業費 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地利用型野菜産地強化プロジェクト事業費 	<p>土地利用型野菜産地強化プロジェクト会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：④園芸(野菜)

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>山形えだまめ日本一産地化プロジェクト【拡充】</p> <p>○関係者一丸による「山形ブランド」の確立 ○高品質・良食味の維持を前提とした水田転換畑へのえだまめ導入の加速化 ○「山形ブランド」のPRと販路開拓・拡大 ○新たな消費形態に対応した加工開発及び輸出検討</p> <p>【担当課】 園芸農業推進課</p>	<p>①日本一産地化に向けた推進協議会・プロジェクト会議の設置・運営</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山形えだまめ日本一産地化推進協議会を開催(5/27) ○山形えだまめ日本一産地化フォーラムを開催(7/7、鶴岡市、180名) ○生産、コミュニケーション、販売の各戦略の部会を開催(7/28、2/14) <p>②生産戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本一えだまめ食味産地形成技術の開発 ・良食味生産のための栽培マニュアルの作成 ・出荷期間拡大のための早生品種の選定 など <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食味基準の設定に向けて、主要品種の糖分、アミノ酸を非破壊で迅速に分析ができる技術を開発(庄内産地研究室、園芸試験場) ○良食味生産技術確立に向け、栽培方法(施肥等)による食味への影響について分析し、食味基準設定データを収集(庄内産地研究室) ○7月出荷向け品種の実証ほを設置(3か所)、現地検討会を開催(庄内、内陸各2回)し、優良品種の絞込みを実施。 ○9月上・中旬出荷向けの品種育成として、前年度に1次選抜した系統から12系統を2次選抜(山形大学、置賜産地研究室) <p>③コミュニケーション戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランドネーム、キャッチコピーの検討・作成 ・県産えだまめのおいしさの根拠となるサポートデータ(アミノ酸等分析データ、試食アンケート調査結果)の収集 など <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知名度を把握するための試食アンケート調査(だだちゃ豆)を実施(アグリフード EXPO、8/18) ○県産えだまめをリレーで販売する協力店を首都圏に2店舗設置し、販売PRを実施。 <p>④販売戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大消費地における試食PR等による販路開拓 ・販路開拓に向けた試験輸出の実施(欧米、東南アジア) ・すぐに食べられるえだまめの商品開発 など <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○販路拡大に向けた商談会(東京:8/18、19、11/11、12)における、試食宣伝の実施。 ○冷凍えだまめ(だだちゃ豆)をシンガポールの高級和食店に試験輸出。 ○レンジ加工の商品化に向けた研究開発の実施(農業総合研究センター等) 	<p>【H28目標】</p> <p>えだまめ 作付面積 1,550ha 産出額 41億円</p> <p>【現状】(H26)</p> <p>えだまめ 作付面積 1,430ha(H27) 産出額 39億円(H27)</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的園芸産地拡大支援事業費 ・TPP対策関連園芸産地パワーアップ事業費 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形えだまめ日本一産地化プロジェクト事業費 	<p>山形えだまめ日本一産地化推進協議会</p> <p>山形えだまめ日本一産地化推進プロジェクト会議</p>

新農林水産業元氣再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：④園芸(野菜)

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>高収益型野菜産地強化プロジェクト【拡充】</p> <p>○市場動向や本県の気象条件等を踏まえた高収益品目(トマト・夏秋いちご)の導入・拡大</p> <p>【主担当課】 園芸農業推進課</p>	<p>①高収益型野菜の産地拡大・強化のためのプロジェクト会議の設置・運営</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産地拡大に向けた推進方向を検討するためにプロジェクト会議を開催(5/17) ○実証の成果検討のためのプロジェクト会議の開催(11/24) ○次世代型施設園芸(トマト)研修会の開催(3/14) <p>②サマーティアラの安定生産対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者のレベルアップのためのモデル展示ほ設置及び現地研修会の開催 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実証ほの設置(2か所、最上普及課:多収生産、村山普及課:施肥技術) ○サマーティアラ現地研修会及び情報交換会の開催(4/20) ○サマーティアラ販売会議(5/30 振興協議会)と目揃え会の実施(8/5) ○生産流通研修会(3/23)の開催。 <p>③トマトの収量・品質向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質向上対策のための実証ほの設置及び研修会の開催 ・高需要トマトの品質低下要因の解明と品種選定 ・低コスト苗利用技術及び秋期収量向上技術の開発 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土壌水分の管理技術(北村山普及課)と夏季の障害果対策技術(庄内普及課)を普及するための実証 ○ミニトマトの品質低下(つや無し果)要因を解明(庄内産地研究室)、中玉トマトの夏季の品質低下に対応したトマト品種選定(園芸試験場) ○トマト土耕栽培における収益性の向上を図るために、低コスト苗の利用技術と秋季の収量向上技術を検討(最上産地研究室) <p>④食用ぎく新品種の栽培技術開発と普及</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山園K4号の品種特性に関する研修会を開催(5/22) ○山園K4号の作型拡大と栽培技術を確立(園芸試験場) ○山園K4号が「菊名月」で商標登録(2/24) 	<p>【H28目標】</p> <p>トマト 生産量 11,000t 産出額 37 億円</p> <p>夏秋いちご 生産量 53t 産出額 1億円</p> <p>【現状】</p> <p>トマト 生産量 10,300t(H28) 産出額 36 億円(H27)</p> <p>夏秋いちご 生産量 30t(H27) 産出額 0.5 億円(H27)</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的園芸産地拡大支援事業費 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高収益型野菜産地強化プロジェクト事業費 	<p>高収益型野菜産地強化プロジェクト会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：④園芸(野菜)

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>やまがた次世代型施設園芸推進プロジェクト【新規】</p> <p>○次世代を担う意欲ある農業者の経営発展のため、地域資源エネルギー等を活用した次世代型施設園芸の拠点づくりを推進</p> <p>【担当課】 園芸農業推進課</p>	<p>①本県における次世代型施設園芸推進のためのプロジェクト会議の設置・運営</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やまがた次世代型施設園芸推進協議会設立及びプロジェクト会議の開催(6/21) <ul style="list-style-type: none"> ・山形県に適応した次世代施設園芸技術を確認するため、試験機関やメーカーと実証内容について検討 ・低コスト耐候性ハウス及び地域資源エネルギーの活用について検討 ○次世代型施設園芸に関する実証ほの現地検討会の開催(1/14) ○次世代型施設園芸研修会の開催(3/14) <p>②次世代型園芸施設拠点づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内4地区に地域資源エネルギーを活用したモデル施設整備に向けた助成 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○置賜地域：低コスト耐候性ハウス(2.2ha、トマト、川西町)の整備に対する助成(H29.4 竣工) ○庄内地域：地域資源エネルギー(大型薪ストーブ)を活用した低コスト耐候性ハウス(32.4a、トマト、酒田市)の整備に対する助成(H29.4 竣工) <p>③次世代型園芸施設の収益性向上対策(生産性向上、省エネ・低コストの実証)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性向上対策：トマト生産での高度環境制御による収量性の向上効果と作期拡大による収益性の検討及び実証 ・省エネ・低コスト対策：地域資源エネルギーを活用した暖房機(木質バイオマスボイラー、ヒートポンプ)の効率的かつ効果的な活用方法の検証及び実証 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実証ほの設計検討会を開催(6/21) ○積雪地域における周年生産体系の実証ほを設置(最上産地研究室) ○当県に対応した地域資源エネルギー活用型新加温体系の実証ほを設置し、検討会(1/11)を開催(園芸試験場) 	<p>【H28目標】 次世代型施設園芸施設の推進 (モデル地区 4か所)</p> <p>【現状】(H28) 次世代型施設園芸施設の推進 (モデル地区 2か所)</p>	<p>【ハード】 ・強い農業づくり交付金 ・産地リスク軽減技術総合対策事業</p> <p>【ソフト】 ・やまがた次世代型施設園芸拠点づくり事業費</p>	<p>やまがた次世代型施設園芸推進協議会会議</p>

新農林水産業元氣再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：④園芸(野菜)

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>冬の農業活性化プロジェクト【継続】</p> <p>○促成山菜(たらの芽、うるい、ふきのとう)、啓翁桜、冬出し特産野菜(おかひじき等)の導入推進</p> <p>○周年型施設花きの生産性向上による冬の農業の活性化</p> <p>【担当課】 園芸農業推進課</p>	<p>①促成山菜(たらの芽、ふきのとう等)の産地強化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たらの芽の生産量回復対策 ・たらの芽新品種の栽培技術開発 ・ふきのとう県オリジナル品種の生産・販売対策 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○たらのき最上A2号を「春かおり」で商標登録(2/24) ○「春かおり」の栽培技術の確立に向けた技術開発(最上産地研究室) ○たらの芽の立ち枯れ症対策と「春かおり」の栽培技術の実証と現地講習会の開催(最上普及課) ○ふきのとうの定植時期解明のための実証ほの設置による生産拡大(酒田普及課) <p>②啓翁桜の産地強化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正月出荷拡大のための促成実証 ・豪雪に対応した雪折れ対策の検討 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○啓翁桜実証ほの設置(2か所[村山普及課、北村山普及課]、年内出しの品質向上) ○研修会(11/4、12/9)での講演による年内出荷拡大技術の導入推進。 ○JA全農山形、首都圏市場と連携した販売対策会議の開催(11/30、1/18、3/22) <p>③冬出し特産野菜の冬期安定生産のための実証ほの設置及び検討会の開催</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山形赤根ほうれんそう実証ほの設置(1か所[村山普及課]、作型拡大(播種晩限))及び検討会の開催(11月) ○おかひじきの立枯れ防止による安定生産と効率的な種子生産技術の現地への普及。 <p>④周年型施設花き(ばら・アルストロメリア等)の省エネ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「省エネルギー型花き施設栽培現地検討会」の開催 ・省エネ型施設、機械、資材導入事例調査 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オリエンタルゆりの施設栽培(遊佐町)での薪ストーブ導入結果の検討(5/10) 	<p>【H28目標】</p> <p>促成山菜(たらの芽、うるい、ふきのとう) 生産量 280t</p> <p>啓翁桜 生産量 200万本</p> <p>おかひじき 生産量 300t</p> <p>【現状】(H27)</p> <p>促成山菜(たらの芽、うるい、ふきのとう) 生産量 237t</p> <p>啓翁桜 生産量 156万本</p> <p>おかひじき 生産量 280t</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的園芸産地拡大支援事業費 ・TPP関連対策園芸産地パワーアップ事業費 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の農業活性化プロジェクト事業費 	<p>やまがた山菜・きのこ日本一産地化プロジェクト会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑤園芸(花き)

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>花き生産性向上プロジェクト【継続】</p> <p>○低コスト生産、高価格販売、面積拡大等による花き経営体の所得向上と産地強化</p> <p>○県産花きの需要拡大</p> <p>【担当課】 園芸農業推進課</p>	<p>①施設花きの産地強化</p> <p>・施設花き(トルコぎきょう、ダリア)の低コスト・多収栽培による生産性向上のための実証ほの設置</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○トルコぎきょう(1か所[庄内町]、品質向上)、ダリア(2か所[川西町、庄内町]、ハウス栽培)の実証ほの設置。</p> <p>○現地検討会の開催(ダリア[ハウス栽培導入検討]:9/26)</p> <p>○ダリアPJ会議での生産振興策の検討(6/3、6/30)</p> <p>②大規模施設花き経営体の経営改善対策</p> <p>・大規模施設花き経営体の経営改善に向けた、専門家及び関係機関による技術面、経営面、資金面についての濃密指導</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○バラ生産者に対して、JA・普及課と連携した継続的な経営改善に向けた技術・経営指導の実施(随時)</p> <p>③露地花きの産地拡大</p> <p>・露地花き(りんどう、洋種花木)の産地拡大のための水田転換畑における栽培実証ほの設置</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○りんどう(3か所[新庄市、米沢市、小国町]、品種適応性)、アナベル(1か所[尾花沢市]、摘心時期)実証ほの設置。</p> <p>○県内全体の生産者を対象としたスノーボール検討会の開催(2/28)</p> <p>④県オリジナル品種りんどう「ハインスシリーズ」、トルコぎきょう「プチスノー」、紅花「夏祭」の市場での求評会等の実施</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○首都圏での求評会の実施(りんどう:8/25、26、紅花:6/18、19)</p> <p>○現地(最上町)での市場との意見交換会の実施(りんどう:8/16)</p> <p>○求評結果のとりまとめと生産者への報告(りんどう:2/23)</p> <p>⑤県花き生産連絡協議会への支援</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○今年度の実施計画について審議(6/16)</p> <p>○首都圏集客の多い施設等における県産花きの展示・PRの実施(東京:9月16日～10月27日、[りんどう、ゆり、トルコぎきょう、ダリア]、トヨタ自動車本社:6月、10月、2月、[紅花、りんどう、啓翁桜])</p>	<p>【H28目標】</p> <p>花き産出額 75 億円</p> <p>【現状】(H27)</p> <p>花き産出額 68 億円</p>	<p>【ハード】</p> <p>・戦略的園芸産地拡大支援事業費</p> <p>・TPP対策関連園芸産地パワーアップ事業費</p> <p>【ソフト】</p> <p>・花き生産性向上プロジェクト事業費</p>	<p>山形県花き生産連絡協議会</p> <p>やまがたフラワーフェスティバル実行委員会</p>

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
	<p>⑥やまがたフラワーフェスティバル等の開催による県産花きの需要拡大</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実行委員会の開催(8/4、9/2、1/13) ○やまがたフラワーフェスティバルの開催(10/14～16、鶴岡市) ○やまがたフラワーセミナーの開催(1/13) 			

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑥畜産

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>畜産生産基盤強化プロジェクト【拡充】</p> <p>○意欲ある担い手が取り組む生産施設の拡充や省力化・生産性向上を図るための施設・機械整備等を支援</p> <p>○本県の畜産経営の生産基盤を強化するとともに所得向上を図り、山形ブランドの確立をより一層推進</p> <p>【主担当課】 畜産振興課</p>	<p>①生産基盤の強化による畜産物の生産力維持・拡大と畜産農家の所得向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大や省力化・生産性向上、経営移譲、環境問題対応等の取組み支援 ・新規就農(参入)者への特別支援(家畜導入など) <p>○酪農経営：生産基盤の拡大支援、稲WCSの利用拡大支援</p> <p>○繁殖経営：稲作中心から畜産主体の複合経営へ規模拡大支援</p> <p>○肥育経営：繁殖部門を取り入れた経営内一貫経営支援</p> <p>○養豚経営：環境に配慮した規模拡大の推進支援</p> <p>○やまがた地鶏：規模拡大及び周年飼育化への支援、生産技術の平準化、販路拡大や加工への支援</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○畜産生産拡大支援事業(県単ハード)による規模拡大や生産性向上への支援(25件採択※) ※うち1件は29年度に繰越して実施。 ○畜産クラスター事業(国庫)による支援(施設整備12件※、機械リース107件、ソフト2件採択) ※うち10件は29年度に繰越して実施。 ○草地畜産公共事業による畜舎等整備への支援(継続1地区、事業完了) ○若手畜産生産者等との意見交換会を開催(4月、4地域) <p>②安全安心な家畜飼料の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自給飼料の生産拡大に向けた作業の効率化、コントラクター組織の育成支援 ・流通・飼料化(粉碎等)・保管の体制整備による飼料用米等の利用拡大 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○飼料用米利用拡大シンポジウムを開催し、利用拡大方策について検討(8月) ○イネWCS収穫適期拡大を目的に、県内4地区で茎葉型品種の栽培と給与の実証を実施。 ○農作物総合検討会を開催し、飼料作物生産拡大に向けた検討を実施(11月) 	<p>【H28目標】</p> <p>畜産産出額 500億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳牛飼養頭数 14,550頭 ・肥育牛飼養頭数 39,600頭 ・繁殖牛飼養頭数 7,500頭 ・養豚飼養頭数 185,900頭 ・やまがた地鶏羽数 17,000羽 <p>【現状】</p> <p>畜産産出額(H27)</p> <p>480億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳牛頭数(H28) 11,300頭 ・肥育牛頭数(H28) 32,080頭 ・繁殖牛頭数(H28) 6,320頭 ・養豚頭数(H28) 148,400頭 ・やまがた地鶏(H28) 14,200羽 	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産クラスター事業費(施設整備事業、機械導入事業) ・畜産生産拡大支援事業費 <p>など</p> <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産クラスター事業費(調査・実証・推進事業) ・畜産生産拡大支援事業費 <p>など</p>	<p>新農林水産業元気再生戦略畜産振興班会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑥畜産

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>やまがたの和牛増頭支援プロジェクト【拡充】</p> <p>○和牛塾などによる人づくりや県産種雄牛の造成、繁殖基盤の強化により、「山形生まれ山形育ち」の和牛増頭を推進</p> <p>【主担当課】 畜産振興課</p>	<p>①多様な担い手確保、新規参入促進、技術の高位平準化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「和牛塾」による担い手交流支援 ・技術向上研修 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「おらだの和牛塾」を開催(7月、2月) ○「やまがた畜産つうしん」を発行(3回) ○やまがたの和牛増頭戦略協議会を開催(2月) <p>②繁殖雌牛の増頭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁殖雌牛導入支援 ・モデル農家の重点支援による技術向上、普及拡大 ・補助事業等を活用した規模拡大への取組みに対する支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○繁殖雌牛増頭事業により繁殖雌牛導入を支援(200頭) ○モデル農家への重点支援を実施(12戸) ○畜産生産拡大支援事業による畜舎等整備への支援を実施(14件) <p>③県産種雄牛の作出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産肉能力に優れた3系統(但馬、糸桜、気高系)の県産種雄牛の造成 ・山形生まれの優良な肥育素牛の増産を推進 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○肉用牛育種改良推進協議会を開催(7月、11月、2月) ○候補種雄牛の現場後代検定を実施(2セット) ○候補種雄牛の直接検定を実施(4頭) 	<p>【H28目標】 繁殖雌牛頭数 7,500頭</p> <p>【現状】 繁殖雌牛頭数(H28) 6,320頭</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費(以下「畜産クラスター事業」、施設整備事業、機械導入事業) ・畜産生産拡大支援事業費 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまがたの和牛増頭戦略事業費 (和牛繁殖雌牛増頭事業、和牛繁殖雌牛導入事業) ・肉用牛改良増殖対策事業費 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>やまがたの和牛増頭戦略協議会</p> <p>肉用牛育種改良推進協議会</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑥畜産

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>山形県産豚肉銘柄推進プロジェクト【継続】</p> <p>○関係機関一丸となって豚肉を生産拡大するとともに、県産豚肉の流通販売を強化し銘柄の向上を推進</p> <p>【主担当課】 畜産振興課</p>	<p>①生産基盤強化と品質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁殖性や肉質に優れる種豚の改良 ・環境と調和した畜舎整備を支援 ・飼料用米給与や生産性向上技術の導入支援 ・防疫の徹底と適切な飼養管理指導の実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○種豚改良のための優秀なランドレース種の精液とデュロック種の生体導入、能力検定の実施。 ○畜産クラスター事業による豚舎整備支援(南陽市、1地区) <p>②流通販売対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販促グッズの作成と各種催事での宣伝活動 ・おいしい山形と連携したHP等での県産銘柄豚の紹介 ・県産銘柄豚の流通状況の把握と各種商談会等への参加を通じた販路拡大 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さくらんぼ祭りでのPR(6月) ○日本一いも煮会でのPR(9月) ○山形県農林水産祭でのPR(10月) ○販路拡大研修会を開催(10月) ○おいしいやまがた商談会への参加(2月) ○アグリフードエキスポ大阪(商談会)への参加(2月) ○JAグループ国産農畜産物商談会への参加(3月) ○おいしい山形のホームページのメンテナンス(年間) 	<p>【H28目標】</p> <p>県内外の催事等における PR活動 4回/年 新たな取引先 4事業者/年</p> <p>【現状】(H28)</p> <p>県内外の催事等における PR活動 6回/年 新たな取引先 1事業者/年</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産クラスター事業費(施設整備事業、機械整備事業) ・畜産生産拡大支援事業費 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産生産拡大支援事業費 ・豚改良増殖対策事業費 ・山形県産豚肉推進事業など 	<p>山形県産豚肉銘柄推進協議会</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑥畜産

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>やまがた地鶏銘柄向上プロジェクト【新規】</p> <p>○やまがた地鶏の生産から流通までの一貫した体制を構築し、安定的に市場に供給するとともに、生産農家の所得向上を推進</p> <p>【担当課】 畜産振興課</p>	<p>①生産体制の強化と品質の高位平準化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒナ安定供給の種卵生産システムの確立を支援 (現地実証による一部民間移行への検証) ・飼育技術向上研修会の開催と現地指導の実施 ・生産拡大のための鶏舎整備を支援 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○舟形・鶴岡で種卵生産の現地実証を実施(2地区) ○畜産生産拡大支援事業による飼育施設等整備の支援(大江町1件、小国町1件) ○飼育技術向上研修会を開催(3月) </div> <p>②飼料費の低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源(飼料用米)等の活用を支援 ・低エネルギー配合飼料の活用 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○畜産試験場において、飼料用粗米及び脱脂米ヌカを用いた試験を実施し、飼料費を25%低減。 ○一部の生産者において、飼料用米を10～15%添加して飼料費の削減を実証。 </div> <p>③販路の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレッシュ肉の通年供給体制の確立支援 ・商談会や各種催事でのPR活動の実施 ・チラシやのぼり、HPの活用による認知度向上 ・食肉取扱業者とのマッチングによる販路拡大 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やまがた地鶏を食べられる店(79店舗)をおいしい山形推進機構のHPで紹介(5月) ○さくらんぼ祭りでのPR(6月) ○山形県観光物産市でのPR(8月) ○大江町やまがた地鶏食鳥処理施設の整備支援(8月完成・稼働) ○日本一の芋煮会でのPR(9月) ○山形県農林水産祭でのPR(10月) ○販路拡大研修会を開催(11月) ○おいしい山形商談会への参加(2月) </div>	<p>【H28目標】</p> <p>飼養羽数 17,000羽 飼料費の低減 10% 県内取扱店舗 80店舗</p> <p>【現状】(H28)</p> <p>飼養羽数 14,200羽 飼料費の低減 25% 県内取扱店舗 79店舗</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産生産拡大支援事業費 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまがた地鶏産地形成推進事業費 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>やまがた地鶏振興協議会</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑥畜産

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>やまがた畜産高付加価値化プロジェクト【継続】</p> <p>○県産畜産物を加工品原料として積極的に活用することで、付加価値化と県産畜産物の消費拡大を促進</p> <p>○農家・企業との連携のもと商品開発を進め、産地としてのイメージアップに取組むとともに、それら商品の販路拡大と県産畜産物の生産額拡大を推進</p> <p>【主担当課】 畜産振興課</p>	<p>①ブランド力を有する山形ならではの県産乳・畜産物の生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の放牧場等を活用した風味豊かなブランド乳づくりを支援 ・関係機関との連携強化による新たな商品開発を支援 (飲むヨーグルト、アイスクリーム、特徴ある牛乳、モッツアレラチーズ) ・県内企業等における県産畜産物を使ったオリジナルな新商品の開発を支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山形県ミルクブランド推進協議会推進会議を開催し、乳製品開発の進捗状況を確認(7回) ・放牧酪農牛乳を原料としたアイスクリーム、ミルクジャムを商品化(飯豊町) ・乳製品加工先進地視察研修会を実施(9月) ・乳製品加工セミナーを開催(10月) ・山形県ミルクブランド推進フォーラムを開催(3月) ○畜産生産拡大支援事業により、やまがた地鶏の加工品開発を支援。 <p>②販路の開拓と拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンソーシアム事業や畜産生産拡大事業を活用した販路開拓やPRを支援 ・山形肉牛協会、山形県産豚肉銘柄推進協議会ややまがた地鶏振興協議会等と連携し、商談会やPR活動へ参加 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種イベントでのPR(県産銘柄豚3回、やまがた地鶏4回) ○販路開拓に向けた商談会への参加(県産銘柄豚3回、やまがた地鶏1回、県産ミルク2回) <p>③県内飲食店、ホテル等との連携、需要の創出</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アフィニス音楽祭レセプションでの食材の提供(総称山形牛・やまがた地鶏 8月) ○日本一の芋煮会出展飲食店等への食材提供を通じたPR(総称山形牛、県産銘柄豚、やまがた地鶏、9月) 	<p>【H28目標】</p> <p>新規に畜産加工に取り組む農業者の数 2件/年</p> <p>新たな畜産加工食品の開発数 3件/年</p> <p>【現状】(H28)</p> <p>新規に畜産加工に取り組む農業者の数 3件/年</p> <p>新たな畜産加工食品の開発数 8件/年</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食産業王国やまがた推進事業費 ・畜産生産拡大支援事業費 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コンソーシアム支援事業費 ・畜産生産拡大支援事業費 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>山形県ミルクブランド推進協議会</p> <p>山形肉牛協会</p> <p>山形県産豚肉銘柄推進協議会</p> <p>やまがた地鶏振興協議会</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑦環境農業

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>環境にやさしい安全農産物生産推進プロジェクト【継続】</p> <p>○耕畜連携による土づくりの推進と環境保全型農業の取組拡大 ○新たな県版GAP導入の取組みと第三者認証GAPの推進による安全農産物生産の推進</p> <p>【担当課】 農業技術環境課</p>	<p>① 環境保全型農業の面的拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山形県農林水産業振興計画」の見直しに合わせ、「エコエリアやまがた推進プラン」を改訂 ・地域エコエリアモデル地区を新たに設置 ・環境保全型農業直接支援対策等の事業活用を推進 ・温室効果ガス低減技術及び生物多様性保全技術の開発 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域エコエリアモデル地区を設置(4月～3月：県内4か所) ○環境保全型農業直接支払交付金の取組みを推進。 ○環境保全型農業技術研修会を開催(8月) ○水田における温室効果ガス低減技術開発に係る試験ほ場を設置(4月～3月) ○有機栽培水田における生物多様性の評価を実施(6月～7月：南陽市内水田ほ場) ○「エコエリアやまがた推進協議会」を開催(9月、3月：年2回) ○地域エコエリアモデル地区を活用した地域段階での研修会を開催(9月～12月：県内3地域) ○温室効果ガス低減技術及び生物多様性評価に係る検討会を開催(2月) ○「全県エコエリアやまがた農業推進プラン」を改訂(3月) <p>② 県産農畜産物等の信頼性確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やまがた農産物安全・安心取組認証制度」へ新たな「山形県版GAP」を導入するとともに、海外輸出等を見据えたGGAPやJGAPの取得促進 ・県産農畜産物等の放射性物質検査の継続的な実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「県版 GAP」のチェックシートを「やまがた農産物安全・安心取組認証」全認証団体・構成員に配布(4月) ○「安全・安心ブランドやまがた産地協議会」を開催(8月、1月) ○GAP 認証取得モデル団体への外部コンサル派遣(4月～3月、2団体) ○JGAP 等の高度な GAP に関する研修会を開催(11月、2か所) ○GAP 基礎研修会を開催(2月、2か所) ○GAP 認証取得予定者へのガイダンス研修を開催(2月) ○普及指導員や JA 営農指導員等の JGAP 指導員基礎研修受講派遣(3月、山形市、30名) 	<p>【H28目標】 エコファーマー農家戸数：10,500戸 特別栽培農家戸数：9,000戸</p> <p>【現状】 エコファーマー農家戸数：7,284戸(H28) 特別栽培農家戸数：8,681戸(H28)</p>	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全型農業推進事業費 ・環境保全型農業直接支援対策費 ・安全安心農産物生産推進事業費 ・農畜産物放射性物質検査事業費 	<p>エコエリアやまがた推進協議会</p> <p>安全・安心ブランドやまがた産地協議会</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑦環境農業

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>エコ農産物情報発信力強化プロジェクト【継続】</p> <p>○環境保全型農業の取組効果の可視化によるエコ農産物ブランド産地の形成促進</p> <p>【主担当課】 農業技術環境課</p>	<p>①エコ農産物の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産現場の要望に応じ、エコエリアHP内の「エコ農産物マップ」や「生きもの保全マップ」の追加更新 ・県内外における有機栽培米の試食評価による消費者交流の促進 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○エコエリアHP内の「エコ農産物マップ」、「生きもの保全マップ」による情報発信(4月～3月) ○山形県有機農業者協議会と連携し県内外において有機栽培米の試食評価会を実施(8月～3月:山形市、東京都) ○有機栽培米等のブランド化に関する検討会を開催(3月) ○生産者、実需者等を対象とした有機農業推進フォーラムを開催(3月) ○消費者交流イベント「やまがたオーガニックフェスタ」を開催(11月) <p>②環境保全型農業における取組効果の可視化手法の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性評価法の現地実証と普及 ・エコ農産物の食味・栄養成分等の調査 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有機栽培水田における生物多様性の評価を実施(6月～7月:南陽市内水田ほ場) ○有機栽培米等の食味評価とメタボローム分析を実施(10月～3月) ○生物多様性評価の検証(3月) ○有機農業オープンフィールドを設置(4月～3月:県内8か所) ○県内の優良取組をエコエリアやまがた推進コンクールで顕彰(11月) 	<p>【H28目標】 特別栽培農産物認証面積 15,000ha</p> <p>【現状】 特別栽培農産物認証面積 15,044ha(H28)</p>	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全型農業推進事業費 ・有機農業推進事業費 	

新農林水産業元氣再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑦環境農業

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>有機農業の取組拡大プロジェクト【継続】</p> <p>○有機農業技術の開発促進と支援体制の充実により農産物生産の安定化を推進 ○有機農産物の優位性の可視化と交流の促進による消費者理解の促進</p> <p>【主担当課】 農業技術環境課</p>	<p>①有機栽培技術の普及拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機栽培における新品種「山形 95 号」の現地適応性の実証 ・乗用型除草機を導入した機械化省力体系の大規模な現地検証 ・「水稻有機栽培マニュアル」を活用した新規取組みの掘り起こしと技術支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「山形 95 号」の有機栽培現地実証を実施(4月～3月) ○乗用除草機の現地大規模実証を実施(4月～3月) ○有機農業オープンフィールドを設置(4月～3月:県内8か所) ○水稻有機栽培における現地検討会を開催(8月:山形市) ○水稻有機栽培現地実証に係る成績検討会を開催(2月) ○有機農業技術研修会を開催(3月) ○「水稻有機栽培の手引き」を作成(3月) <p>②試験研究機関における野菜を中心とした新技術開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機野菜の生産拡大を図るため、さといも、ねぎ、えだまめの有機栽培技術の開発 ・水稻の有機栽培に関する技術開発 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さといも、ねぎ、えだまめの有機栽培技術開発を実施(4月～3月) ○環境保全型農業技術研修会において現地視察を実施(8月) ○地域有機性資源を活用した水稻有機栽培技術開発を実施(4月～3月) ○有機栽培研究課題成果検討会を実施(2月) ○水稻有機栽培の成果検討会を実施(2月) <p>③有機農業の優位性の可視化と理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やまがたオーガニックフェスタ」の開催支援による消費者交流の促進 ・有機農業専用HP等を活用した取組事例の紹介 ・生物多様性評価と食味・栄養成分等の調査による可視化の検討 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「やまがたオーガニックフェスタ」実行委員会を開催(4月、6月、8月) ○有機栽培水田における生物多様性の評価を実施(6月～7月:南陽市内水田ほ場) ○消費者交流イベント「やまがたオーガニックフェスタ」を開催(11月) ○生物多様性評価の検証とブランド化に向けた検討会を開催(3月) ○生産者、実需者等を対象とした有機農業推進フォーラムを開催(3月) 	<p>【H28目標】 有機農業取組面積 800ha</p> <p>【現状】 有機農業取組面積 713ha(H28)</p>	<p>【ソフト】 ・有機農業推進事業費</p>	

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ⑧林業

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>「やまがた森林ノミクス」推進プロジェクト【拡充】</p> <p>○森林資源の循環利用と再生を図る「緑の循環システム」により、地域の豊かな森林資源を「森のエネルギー」、「森の恵み」として活用し、産業振興と雇用創出を図る「やまがた森林ノミクス」を官民一体で推進する</p> <p>【担当課】 林業振興課</p>	<p>①低コスト作業システムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村や森林組合等による境界明確化、施業の団地化の取組みに対して支援し、計画的な森林整備を推進 ・高性能林業機械の導入や貸付制度に対する支援 ・効率的に木材を搬出するための林道・林業専用道、作業道等の整備 ・コンテナ苗の活用など省力化を図り、再造林を推進 など <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○政府への施策提案等を通じて補助事業の十分かつ安定的な財源の確保や主伐後の再造林についての支援拡充を要望(6月) ○補助事業を活用した森林の境界明確化(295ha) ○高性能林業機械の導入支援(10台) <p>②流通体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐した低質材(B・C材)の搬出への財政支援 ・県産木材の需給調整等を担う「やまがた県産木材需給ネットワークセンター(仮称)」の運営支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○低質材(B・C材)の搬出を支援(43,621 m³) ○県産木材の安定供給体制を構築するため、4月に「山形県原木流通協議会」を設立し、共同出荷体制の整備等を検討(協議会3回:4月、8月、3月、幹事会5回) <p>③木材加工施設等の機能強化 →木質バイオマス利用促進プロジェクト</p> <p>④木材利用・木材需要の創出 →県産木材利用拡大プロジェクト</p> <p>⑤人材の育成・確保 →林業人材育成プロジェクト</p> <p>⑥施策推進体制の整備・情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまがた森林ノミクスを総合的に推進するための施策の検討及び「全国森林ノミクスサミット in 山形」の開催による普及啓発 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ やまがた森林ノミクス推進懇話会の開催(5月、6月、8月) ○ 「全国森林ノミクスサミット in 山形」の開催(11月) ○ 「山形県の豊かな森林資源を活用した地域活性化条例(通称:やまがた森林ノミクス推進条例)」の制定・施行(12月) ○ やまがた森林ノミクス推進会議の設立及び会議開催(3月) 	<p>【H28目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材(素材)生産量: 50万m³ ・高性能林業機械台数: 100台 <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材(素材)生産量: (H28):43万m³ ・高性能林業機械台数: (H27):92台 	<ul style="list-style-type: none"> ・やまがた森林ノミクス推進事業費 ・次世代林業基盤づくり交付金事業費 ・森林資源再生事業費 ・森林施業支援事業費 ・民有林林道整備事業費 ・治山事業費 ・森林病虫害防除事業費 ・やまがたの木利用拡大プロジェクト事業費 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>やまがた森林ノミクス推進懇話会</p> <p>山形県原木流通協議会</p> <p>やまがた森林ノミクス推進会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ⑧林業

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>県産木材利用拡大プロジェクト【継続】</p> <p>○県内外における県産木材の販路拡大戦略を策定 ○県産木材を利用した県内新築住宅への補助や公共施設の木造化・内装木質化の促進、消費者向けの普及啓発による県産木材の利用を拡大</p> <p>【担当課】 林業振興課</p>	<p>①県内外での県産木材(A材)の販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまがたのすぎ販売促進戦略プロジェクト会議を開催(年3回)し、中長期的な販路拡大戦略を策定 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やまがたの木(A材)利用拡大戦略プロジェクト会議を開催3回(6、8、10月) ○A材利用拡大に向けた具体的な取組みの方向性を示すものとして、12月に「やまがたの木(A材)利用拡大戦略」を策定。 <p>②県産木材を利用した住宅建築の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産認証材を使用した新築住宅の施主への助成 ・住宅建築関連業界が一体となった家づくりネットワークが実施する県産木材住宅の普及啓発活動に対する支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県産認証材「やまがたの木」の利用促進を図るため新築住宅に対して支援(163件) ○県産木材住宅の普及啓発を行う家づくりネットワーク8団体に対して助成。 <p>③公共施設の木造化・内装木質化の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村における公共建築物等の木材利用方針の策定指導 ・県施工の公共施設の木造化・内装木質化の働きかけ ・国庫補助事業を活用した木造化・内装木質化の促進 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共施設の木造化・木質化を推進するため公共施設等県産木材利用拡大推進会議幹事会を開催(7月) ○県内全市町村で公共建築物等の木材利用方針を策定(12月) <p>④消費者向けの普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業まつりの開催による県民向けの普及啓発の推進 ・消費者などユーザー向け県産木材PRパンフの作成を支援し、県産木材の利用促進を普及 ・県産スギ材を材料とする家具製品など県産木製品の普及啓発の推進 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県産木材を活用した「箸」を製作(7月)し、森林ノミクスのPR用品として活用。 ○林業まつりを開催し、県産木材の利用等について普及啓発を実施(10月) ○県産木材のPRパンフレットを作成(5千部:3月) 	<p>【H28目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設(3,000㎡以下)の原則木造化(木造率)100% <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設(3,000㎡以下)の原則木造化(木造率)50%(H27) 	<ul style="list-style-type: none"> ・やまがたの木利用拡大プロジェクト事業費 ・やまがたの家づくり支援事業費 ・次世代林業基盤づくり交付金事業費 ・新たな木材需要創出総合プロジェクト事業(国→事業者) 	<p>やまがたの木(A材)利用拡大戦略プロジェクト会議</p> <p>公共施設等県産木材利用拡大推進会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ⑧林業

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>木質バイオマス利用促進プロジェクト【継続】</p> <p>○未利用間伐材等の有効利用を拡大するため、供給施設や利用施設等の整備を促進する。</p> <p>【主担当課】 林業振興課</p>	<p>①木質バイオマス供給施設整備への支援</p> <p>・国庫補助事業を活用した供給施設の整備促進</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○政府への施策提案等を通じて補助事業の十分かつ安定的な財源確保を要望(6月)</p> <p>○次年度の木質チップ製造施設整備等への支援に向けた事業計画を検討。</p> <p>②木質バイオマス利用施設整備への支援</p> <p>・国庫補助事業を活用した利用施設の整備促進</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○政府への施策提案等を通じて補助事業の十分かつ安定的な財源確保を要望(6月)</p> <p>③円滑な原料供給体制の支援</p> <p>・木質バイオマス燃料向けの低質材(B・C材)の搬出支援</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○木質バイオマス燃料向け等の低質材(B・C材)の搬出を支援(43,621 m³)</p>	<p>【H28目標】</p> <p>木質バイオマス燃料の生産量 8万t</p> <p>【現状】</p> <p>木質バイオマス燃料の生産量 3.4万t(H27)</p>	<p>・次世代林業基盤づくり交付金事業費</p>	

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ⑧林業

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>やまがた山菜・きのこ 日本一産地化プロジェクト 【新規】</p> <p>○やまがた森林ノミクスの一環として、生産・加工・流通販売まで総合的に推進することにより日本一の「山形ブランド」を定着</p> <p>【担当課】 農村計画課</p>	<p>①「やまがた山菜・きのこ日本一産地化プロジェクト会議」の設置・運営 ・日本一産地化に向けたブランド化戦略の策定、進行管理の実施</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産、流通、加工販売等の関係者を訪問して意見の聞き取りを実施(4月～10月、2月) ○県内外の有識者で構成するプロジェクト会議を開催してブランド化戦略を検討(7月、11月、3月) ○ブランド化戦略を策定(H29.3) <p>②生産戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産振興と産地づくりのための生産基盤、加工施設等の整備への支援 ・たらの芽の生産量回復対策、新品種の栽培技術開発 等 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山菜やきのこの生産拡大に係る施設整備等への補助を実施(14件採択) ○たらの芽新品種の安定生産技術の実証、ふきのとう新品種の栽培技術の実証。 <p>③加工戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲ある生産者と加工業者をマッチング、商品企画から試作、求評、本格生産、販路開拓、定番化までの取組みを支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○加工業者から県産品の取扱拡大などへの意見を聞き取り(5社) <p>④流通・販売戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏量販店でのプロモーション、生産者と首都圏実需者のマッチング 等 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○首都圏の市場関係者から意見の聞き取りを実施(卸業6社、4月) ○首都圏の飲食店で県産の山菜・きのこを使った料理を提供してプロモーションを実施(5月、1月～2月) <p>⑤コミュニケーション戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、直売所や料理店、草木染め体験等の情報を一体的に発信 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県内外の料理店、メディア関係者、ブランディングの専門家等から意見の聞き取りを実施(6社、4月～7月、10月、2月) ○効果的な発信方法を検討(随時)、山菜ときのに係る本県の認知度をWebのアンケート調査でリサーチ(2月～3月) 	<p>【H28目標】 ブランド化戦略策定</p> <p>【現状】 ブランド化戦略策定(H29.3)</p>	<p>・やまがた森林ノミクス推進事業費(やまがた山菜・きのこ日本一産地化プロジェクト) など</p>	<p>やまがた山菜・きのこ日本一産地化プロジェクト会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑨水産業

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>豊かな海づくりプロジェクト【継続】</p> <p>○海面及び内水面の環境整備と水産資源の維持・培養による水産資源の持続的利用を図り、本県水産業の維持、発展を目指す</p> <p>【担当課】 水産振興課</p>	<p>①栽培漁業の推進による水産資源の維持培養</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上養殖や漁港静穏域での海中養殖など生産体制の検討 ・サケ稚魚 3 千万尾放流体制維持によるサケ資源の安定確保 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○遊佐町が行っている一ロアワビの養殖試験の技術指導(4～8月) ○養殖試験の結果に基づき、施設整備等対応方針を検討するとともに、事業計画の作成等を実施(10月) ○サケ稚魚を買上げ放流(3月) <p>②多様な水産生物を育む豊かな水域環境の整備・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藻場造成、イワガキ漁場整備 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○遊佐町の活動組織が行う藻場保全の取組みを国及び遊佐町と連携して支援。 ○今年度から新たに活動を開始する小岩川地区(鶴岡市)の藻場保全の取組みを国及び鶴岡市と連携して支援。 <p>③内水面漁業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚道・漁場の清掃、魚の隠れ家・産卵場造成による魚類生息環境の改善 ・遡上系親魚確保、遡上系種苗増産によるサクラマス資源造成 ・サクラマスの県委託放流の実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○孟宗竹を川岸に設置(魚の隠れ家・寒河江川) ○サクラマスの県委託放流実施(6月・7月、154,300尾) ○産卵場を造成(9月) ○遡上系サクラマス親魚を確保(9月・10月) <p>④全国豊かな海づくり大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施本部の設置と大会の成功に向けた実施運営体制の構築 ・子ども達による放流や魚食普及活動を中心とした「魚いきいき清流山形県民運動」の展開 ・100 日前イベント等の節目イベントの開催や海づくりキャラバンでの大会PRによる機運醸成事業の実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実施本部を設置(4月)し、円滑な運営に向けて説明会やリハーサルを実施。 ○100 日前集中PRキャンペーン(5～6月)を中心とした県民運動の展開(4～8月)等により、大会開催に向けた機運を醸成。 ○前日リハーサルの実施等により万全の準備を整え本番大会を開催(9月) 	<p>【H28目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海面漁業・養殖業の生産額：32 億円 ・海づくり大会： 実施本部設置と大会開催 <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海面漁業・養殖業の生産額：30 億円(H27) ・海づくり大会： 実施計画策定・大会機運醸成事業の実施、大会の開催(平成 28 年9月 10 日、11 日) 	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培漁業振興事業費 ・サケ・マス振興事業費 ・最上小国川流域内水面漁業振興事業費 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内浜トップブランド水産物創出事業費 ・栽培漁業振興事業費 ・サケ・マス振興事業費 ・さかな食育普及事業費 ・魚類生息環境保全対策事業費 ・第36回全国豊かな海づくり大会開催事業費 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>カワウ連絡協議会</p> <p>第36回全国豊かな海づくり大会実行委員会</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑨水産業

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>県産水産物の付加価値向上プロジェクト【継続】</p> <p>○漁業の生産性向上と魅力回復により、漁業の担い手確保と漁業生産の維持・発展を図るため、県産水産物の付加価値向上を目指す。</p> <p>【担当課】 水産振興課</p>	<p>①クロマグロの漁獲体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロマグロの沖合漁場の開発と漁場予測の精度向上 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○5月30日～6月15日の期間内に北上期新規漁場として、鳥海礁で調査を実施。 ○5月1日～7月31日に北上期の漁場である大瀬で観測を実施。 ○南下期の調査を飛島周辺で、10月～11月に実施。 <p>②付加価値向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活魚出荷と短期蓄養の組み合わせにより付加価値向上を推進 ・活締めや急速冷凍、簡易な鮮度保持技術を導入等による漁獲物の品質向上を推進 ・イワガキの差別化による付加価値向上と資源の安定を図るための、出荷サイズ及び型の統一と殺菌処理の導入促進 ・本県独自のサケマス類魚種として、大型ブランドマスやメジカに近づけた小ぶりの山形県産ブランド鮭などの開発と民間への技術移転、販売戦略の検討・支援 ・慶事で喜ばれる子持ちコイの効率的生産のための全雌生産技術の導入支援 ・水産資源の回復・確保に向けた海産魚介類の陸上養殖手法の検討 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○はえ縄漁業者によるメバル類等の短期蓄養を支援。 ○鶴岡工業高等専門学校とイワガキの殺菌処理導入のための情報交換を実施。 ○庄内おばこサワラの脂質分析と脱血処理の高度な技術の開発と普及指導を実施。 ○リキッドフリーザーによるサケのルイベの急速冷凍処理の検討を実施。 	<p>【H28目標】</p> <p>海面漁業・養殖業の生産額：32億円</p> <p>【現状】</p> <p>海面漁業・養殖業の生産額： 30億円(H27)</p>	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内浜トップブランド水産物創出事業費 ・大型クロマグロ漁獲実証事業費 ・庄内浜ブランド力強化事業費 <p style="text-align: right;">など</p>	

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ⑨水産業

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>庄内浜の魚消費拡大総合プロジェクト【新規】</p> <p>○平成28年の「第36回全国豊かな海づくり大会」を契機として、庄内浜産水産物の県内の消費拡大を目指す。</p> <p>【担当課】 水産振興課</p>	<p>①アンテナショップ型直売所の設置等による消費拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内陸部にアンテナショップ型直売所を設置 ・山形市内の中心市街地量販店等の協力で「庄内浜の魚コーナー」を設置 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プロモーションイベントへの出店(5月)及び県政広報番組によるPR(6月)を実施。 ○毎月、内陸部の直売所(アンテナショップ型直売所)において庄内浜の旬の魚フェアを開催しPRを実施。また、流通関係者により消費拡大策を検討。 <p>②SNS活用による県内旅館、応援店等との直接取引の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS活用等による旅館、応援店等との直接取引システムの構築 ・水揚情報、漁獲物の鮮度保持処理やおすすめ料理法等の発信 ・旅館の協力を得て「庄内浜産」のお品書きや仲居さんの一言PR等の実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○庄内浜の水揚情報及び庄内海丸(アンテナショップ型直売所)の取扱商品の情報を発信。 <p>③やまがた庄内浜の魚応援店の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓄養や急速冷凍機の導入による安定供給の体制づくり検討 ・応援店の拡充、推進体制の構築、組織化の検討 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規応援店を募集。(応募店舗数 35店舗 計 97店舗) ○応援店と漁業者との交流会にて、漁業体験及び意見交換及び急速冷凍品の試食求評を実施(9月) ○応援店、流通関係者による「庄内浜の魚流通検討部会」において流通対策を検討(1月) <p>④山形市ホテル協会との共同企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県漁協と連携し、山形市ホテル協会において、県との共同企画を行う。 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○急速冷凍水産物の試食求評会を実施(12月) <p>⑤庄内浜産水産物のプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップセールス等とキャンペーンを組み合わせたプロモーション活動により、更なる認知度向上及び消費拡大を図る。 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○庄内魚まつり in 山形(5月)、春の旬の魚キャンペーン(5月～6月)を実施。 ○秋の旬の魚キャンペーン(9月～11月)、庄内の寒ダラまつり(1月)を実施。 ○山形市内「紅の蔵」十日市(3月)において庄内浜水産物のPRを実施。 	<p>【H28目標】 海面漁業・養殖業の生産額: 32億円</p> <p>【現状】 海面漁業・養殖業の生産額: 30億円(H27)</p>	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内浜トップブランド水産物創出事業費 ・庄内浜の魚消費拡大事業費 ・水産物直売トライアル事業費 ・庄内浜ブランド力強化事業費 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>庄内浜の魚消費拡大総合プロジェクト推進本部</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑨水産業

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>水産加工業振興プロジェクト【継続】</p> <p>○県漁協を中心とした水産加工振興の基盤づくりと、県内水産加工業者や実需者との連携による商品開発や販路拡大・消費拡大を支援</p> <p>【担当課】 水産振興課</p>	<p>①全国豊かな海づくり大会に向けた水産加工品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内水産加工振興コンソーシアム参加企業の商品を集めたコンテスト開催 ・全国豊かな海づくり大会での新商品発表を目指した水産加工品開発検討チームの立ち上げ <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「庄内浜魚まつり in 山形」における水産加工品コンテストを開催(5月) ○「紅ずわいがに缶詰」を開発(4月～8月) ○海づくり大会関連行事において新商品をお披露目(9月) <p>②加工原料の安定供給のための体制づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地協議会において、関係者間で県漁協における冷凍冷蔵施設等の整備計画を検討 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係者間で冷凍冷蔵施設に関する打合せを実施。 ○県漁協の冷凍冷蔵施設の導入について、引き続き検討。 <p>③漁業者等による 1.5 次加工へのチャレンジ促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性グループ等の起業化意欲を喚起し、1.5 次加工への取組みを支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○女性グループの起業化に向けた研修会を開催(11月) <p>④新たな水産加工品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イカやアユ等の地域に根ざした水産加工品づくりの取組みを継続して支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県漁協女性部による「おつまみイカ」の商品化を支援(4月～8月) ○アユの粕漬けの試食会を開催(9月) 	<p>【H28目標】</p> <p>水産加工生産量： 2,800トン</p> <p>【現状】(H27)</p> <p>水産加工生産量： 4,061トン</p>	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産加工振興事業費 	<p>庄内浜の魚消費拡大総合プロジェクト推進本部</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑩6次産業・流通

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>食産業王国やまがた構築プロジェクト【継続】</p> <p>○「販売力向上」、「技術力・経営力（商品企画力）強化」、「人材の育成」の取組みを通じて、3つの6次産業化（①農林水産業者自らの取組み、②農林水産業者と食品製造業の連携による取組み、③地域の多様な主体の連携・協同による取組み）を推進し、地域内で付加価値が増幅循環する食産業群の形成を目指す。</p> <p>【担当課】 6次産業推進課 農政企画課 農業技術環境課</p>	<p>①農林水産業者自らの6次産業化、市町村等による地域の6次産業化の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業者による新たな付加価値を産み出す6次産業化の取組みに必要な施設整備・機械導入等の支援 ・市町村やJA等による地域の農業者が利活用できる6次産業化拠点施設（直売所、加工所等）の整備・改修等の支援 ・市町村の6次産業化ネットワーク形成及び6次産業化戦略策定に向けた支援 ・食品加工相談窓口や食品加工支援チームによる相談・助言・指導の実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○元気な6次産業化応援プロジェクト事業の実施（採択件数 13 件） ○市町村でのネットワーク形成及び戦略策定状況に係る情報収集、働きかけ（戦略策定7市町村） ○6次産業化支援機関や食品加工相談窓口、食品加工支援チーム等による相談・助言・指導。 <p>②高付加価値の加工食品を創出する技術力・商品開発力等の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手食品メーカーや大手卸等と県内食品製造業者との連携によるOEM案件の斡旋や技術支援・移転につながるマッチング支援を実施 ・県産農産物等の利用拡大に取り組む食品製造業者の設備整備等を支援 ・農業者や食品製造業者等が行う6次産業化の取組みを積極的に支援するための食品加工試作支援棟（仮称）の整備 など <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国分東北㈱と県内食品製造業者等とのマッチング商談会を県内で開催（19 社）（6月） ○食産業王国やまがた推進事業による食品製造業者の支援を実施（採択件数1件） <p>③農産物等・加工食品の戦略的な販路開拓の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓のターゲットとなる市場と取組方針等の販路開拓の戦略を検討 ・食に関連する多様な情報を収集・分析し、取引条件の調整なども含めた産地と食品製造業者・流通業等のマッチング支援 ・食品卸売業大手等と連携して、商談会出展支援やミニ商談会開催等による販路拡大を支援 など <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山形加工食品開拓戦略会議を開催（5月・10月・2月） ○6次産業開拓推進員によるマッチング支援を実施。 ○国分グループ㈱、日本アクセス㈱主催の展示商談会への出展を支援（計5事業者）（6月・7月） ○おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会の開催により県内食品製造業者等の首都圏等への販路拡大を支援（納入企業 78 社（うち県内企業 56 社）、仕入企業 56 社、個別面談商談件数 441 件）（10月） ○国分東北㈱と県内食品製造業者等とのマッチング商談会を県内で開催（19 社）（6月） <p>【再掲】</p>	<p>【H28目標】</p> <p>(1)売上高 1,000 万円以上の直売所数: 90 件</p> <p>(2)販売金額 500 万円以上の農産加工取組み件数: 95 件</p> <p>(3)全35市町村での6次産業化ネットワーク形成</p> <p>(4)全国の食料品製造業における本県の食料品製造業の製造品出荷額等の割合: 1.5%</p> <p>(5)食品製造業における県産農作物の使用割合（重量\times-λ）(%) : 40.0%</p> <p>【現状】</p> <p>(1)83 件(H28)</p> <p>(2)82 件(H28)</p> <p>(3)市町村ネットワーク数 26(H28)</p> <p>(4)1.2%(H26)</p> <p>(5)39.2%(H28)</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気な6次産業化応援プロジェクト事業費 ・食産業王国やまがた推進事業費 ・食産業ネットワーク形成事業費 ・食品加工試作支援機能整備事業費 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気な6次産業化応援プロジェクト事業費 ・食品加工開発機能強化推進事業費 ・6次産業化総合推進事業費 ・食産業王国やまがた推進事業費 ・食産業ネットワーク形成事業費 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>やまがた6次産業戦略推進本部</p>

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
	<p>④6次産業化を担う人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政、教育、農業・食品、金融等の関係機関が連携した推進体制を構築し、実践重視のカリキュラムによる体系的研修(ビジネス・スクール)の実施 など <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ビジネス・スクールのカリキュラム内容及び実施体制を検討・調整。 ○ビジネス・スクール研修を実施(11月～2月) ○やまがた6次産業化「食と農」ビジネス交流会を開催(3月) 			

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑩6次産業・流通

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>地域土産品開発等推進プロジェクト【拡充】</p> <p>○県産農産物等を活用した土産品(菓子等)の県内製造の促進による県産農産物等の利用拡大と地域における経済効果の増幅循環を目指す</p> <p>【担当課】 6次産業推進課</p>	<p>①意欲ある食品製造業者が中心となる連携体が取組み土産品開発を支援</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土産品開発支援事業による支援を実施(採択件数 15 件)(7月) <p>②県産農産物等を使用し県内で製造された土産品の優良事例を顕彰し、商品力の強化や販路の開拓を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土産菓子コンテストと高校生スイーツコンテストの開催 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やまがた土産高校生スイーツコンテストを開催(6月) ○高校生スイーツコンテストの県知事賞受賞商品について、県内菓子店と連携したトライアル販売を実施(8月) ○第2回やまがた土産菓子コンテストを開催(12月) <p>③情報発信力の高い女性による、女性視点からの新商品の求評会の開催</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○みやぎ・やまがた女性交流会において、女性約 110 名に第2回やまがた土産菓子コンテスト入賞商品のPR、試食・求評を実施(2月) <p>④新たに開発された商品やコンテスト入賞商品の情報発信の強化と販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品やコンテスト入賞商品の各種イベントでのPRや試験販売等により、販路の開拓・商品の定番化を支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第1回やまがた土産菓子コンテストの入賞商品等について、大沼デパート「山形ふるさとうまいものまつり」に出展・販売(6月) ○高校生スイーツコンテストの県知事賞受賞商品について、県内菓子店と連携したトライアル販売を実施(8月)【再掲】 ○第2回やまがた土産菓子コンテストの入賞商品等について、下記イベントに出展・販売 <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと祭り東京(東京ドーム)(1月) ・JR東日本グループ主催の山形産直市(大宮駅)(2月) ・3周年感謝祭・山形うまいものフェア(イオン天童)(3月) 	<p>【H28目標】 県産農産物等を使用した土産品(菓子)の県内製造割合:40%</p> <p>【現状】 30%(H26)</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食産業ネットワーク形成事業費 ・食産業王国やまがた推進事業費 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域土産品開発等推進事業費 ・食産業ネットワーク形成事業費 ・食産業王国やまがた推進事業費 <p style="text-align: right;">など</p>	

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑩6次産業・流通

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>米粉・加工用米利用拡大プロジェクト【継続】 ○県産米粉の需要拡大と生産拡大を図るため、製粉事業者や加工事業者等の連携による県産米粉活用加工商品の開発や県産米粉の新たな販路開拓・拡大を推進 【担当課】 6次産業推進課</p>	<p>①県産米粉のさらなる需要拡大の推進 ・県内外の大手食品製造事業者等に山形県産米粉の使用を働きかけ、需要の掘り起こしや県内生産者や製粉業者とのマッチングを支援</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県産米粉に係る農事組合法人と惣菜メーカーとのマッチング支援を実施(6/30) <ul style="list-style-type: none"> ・餃子の皮に県産米粉活用を提案 ○「やまがたふるさと食品コンクール」を開催(8/2 霞城セントラル) <ul style="list-style-type: none"> ・こめっこ賞「山形うんマイ△つきー」(有限会社六味庵) ○山形県米粉利用拡大プロジェクト推進協議会総会を開催(8/25) <p>②米粉製品の消費拡大 ・消費者を対象に量販店等での実演販売を行い、消費の拡大と米粉製品等の定番商品化など販路開拓・拡大を支援</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県産米粉商品 PR イベント実施について、県内量販店等と意見交換(8月) ○「米粉料理教室」(9/6、11/8) <ul style="list-style-type: none"> ・消費者を対象に県産米粉を使った料理の実演と試食会、小学校教諭を対象に米粉料理実技研修会を開催 <p>③米由来の新商品開発 ・ピューレ状、ゼリー状等の米由来の新たな食品加工素材を用いた新商品の開発を支援</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第1回新たな米加工技術に係る意見交換会を開催(8/25) ○新素材活用に係る消費者求評会を開催(9/6) <ul style="list-style-type: none"> ・米ゲル使用パンの試食求評、アンケート実施 	<p>【H28目標】 (1)県産米を使った米粉商品数 : 250 件 (2)米粉製品等の販売店舗数 : 190 店舗 (3)やまがた米っ粉クラブの会員数 : 1,700 名</p> <p>【現状】 (1) 247 件(H28) (2) 168 店(H28) (3) 1,620 名(H28)</p>	<p>【ソフト】 ・県産米を使った米粉利用推進事業費 ・地域土産品開発等推進事業費 ・元気な女性・若者ビジネス応援事業費 ・元気な6次産業化応援プロジェクト事業費 など</p>	<p>山形県産米粉利用拡大推進協議会</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑩6次産業・流通

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>県内食品製造業による県産農産物等利用拡大プロジェクト</p> <p>○県産農産物等を活用した加工食品の新商品開発と生産拡大、県産原材料への置き換えを促進し、県内食品製造業による県産農産物等の利用拡大を推進</p> <p>【担当課】 6次産業推進課 農業技術環境課</p>	<p>①県内食品製造業と農林水産業(産地・生産者)との連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品製造業側と産地・生産者側双方に関する情報の収集・分析を行い、両者間の連携・マッチングを支援 ・食品加工支援チームによる相談・助言指導の実施 ・産地と連携したトマトのペースト・ピューレやかぼちやのカット製品等、給食用一次加工品の開発を支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産直、カット製品製造業者、学校給食納入組合との継続したマッチング支援により、冷凍カット野菜(カボチャ、ほうれんそう、小松菜)の導入開始(寒河江市) <p>②原材料の安定供給・安定取引に向けた産地化の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水田転換畑への園芸作物導入の支援 ・地域内マッチングによる加工用農産物栽培の拡大及び販路確保への支援 ・契約取引(契約栽培)の拡大への働きかけと契約モデルケースづくりの実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食品製造業者等との意見交換会において、契約取引(契約栽培)に係る意見を聴取(8月) ○県内食品製造業者等を対象に県産農産物等の使用状況及び契約栽培の状況等に係る実態調査を実施(9月) <p>③県産農産物等を使用した付加価値の高い商品開発及び生産拡大の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品製造業者による新商品開発へのソフト支援 ・食品製造業者による県産農産物の利用拡大に向けた施設・設備整備への支援 ・大手食品メーカーや大手卸売業と県内食品製造業者との連携によるOEM案件の斡旋や技術支援・移転につながるマッチング支援を実施 ・やまがた6次産業拠点施設(仮称)を活用した食品加工開発機能の強化 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食産業王国やまがた推進事業による食品製造業者の支援を実施(採択件数1件)【再掲】 ○国分東北(株)と県内食品製造業者等とのマッチング商談会を県内で開催(19社)(6月)【再掲】 ○やまがた農商工連携ファンド事業(やまがた農業支援センター)による農商工連携に取り組む農林漁業者・中小企業者の取組みに対する助成を実施(採択件数17件) ○土産品開発支援事業による支援を実施(採択件数15件)(7月)【再掲】 ○やまがた6次産業拠点施設(仮称)の基本設計を実施。 	<p>【H28目標】</p> <p>(1)全国の食料品製造業における本県の食料品製造業の製造品出荷額等の割合：1.5%</p> <p>(2)食品製造業における県産農作物の使用割合(重量ベース)(%)：40.0%</p> <p>【現状】</p> <p>(1)1.2%(H26)</p> <p>(2)39.2%(H28)</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食産業王国やまがた推進事業費 ・食産業ネットワーク形成事業費 ・食品加工試作支援機能整備事業費 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品加工開発機能強化推進事業費 ・6次産業化総合推進事業費 ・食産業王国やまがた推進事業費 ・食産業ネットワーク形成事業費 ・地域土産品開発等推進事業費 <p style="text-align: right;">など</p>	

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑩6次産業・流通

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>食育・地産地消県民運動展開プロジェクト</p> <p>○食育・地産地消の推進に資するため、食育・地産地消推進計画の進行管理、県民に対する食育・地産地消の啓発などに取り組む。</p> <p>【担当課】 6次産業推進課</p>	<p>①食育県民運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民が食育を推進する機運を高める食育県民大会を開催 ・地域における食農体験の受け皿組織づくりを推進し、県民が「食」や「農」について考え「気づき」の場を提供し、県民の関心を高めながら、家庭や地域での食育の実践へとつなげていく ・地域や学校行事などの要請に応え、農業体験や地元食材を使った郷土料理の伝承教室などを指導する活動員を派遣 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○親子農業体験教室、料理教室等で派遣要請のあった市町村に活動員を派遣(15回) ○食育県民大会の開催(11/5 ビッグウイング 160人) <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな食と農の魅力や価値について広く発信し、食育活動の必要性を普及啓発 <p>②山形の食の魅力発信・継承活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食をはじめ、医療、福祉等の給食提供施設で、県産農林水産物の利用拡大や郷土料理のメニューへの導入を推進 ・料理情報サイトへのレシピ掲載や各種イベントでの料理実演、レシピ配布により、県産農林水産物や伝統野菜の紹介とその料理方法について情報発信 ・食文化の継承を推進するため、郷土料理や地域の食文化を学ぶ機会を創出 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○給食提供施設に対し農産物情報の提供、生産者の紹介を実施。 ○料理情報サイトへレシピを掲載(2品/月) ○県産農産物の使用割合が低い市町村への個別巡回を実施(7回) ○各地域において郷土料理教室等を開催(庄内(6月)、最上(12月)、村山(1月)、置賜(3月)) 	<p>【H28目標】</p> <p>(1)食育ボランティアの活動延べ人数:1,400人 (2)学校給食における県産野菜の利用割合:40%</p> <p>【現状】</p> <p>(1)1,254人(H28) (2)34.4%(H28)</p>	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育・地産地消推進事業費 ・学校給食における地産地消促進事業費 	<p>やまがた食育協議会</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑩6次産業・流通

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>農林水産業ウーマノミクスプロジェクト【継続】</p> <p>○女性や若者等の力と地域の強みである多様で豊富な農産物や地域資源を活かし、付加価値や雇用を生み出す地域内起業（地域内の産業興し）を促進</p> <p>【担当課】 農政企画課 農業技術環境課</p>	<p>①女性や若者が主体となった地域内起業に向けた芽出しを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期段階である商品開発に向けた事業プランづくり、加工品の試作や市場調査、料理や体験メニュー開発等を支援 ・ビジネス化に向けた商品のパッケージ開発や販促活動、地域活性化につなぐイベントの企画開発と試行等を支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○元気な女性・若者ビジネス応援事業による女性・若者の起業への支援を実施（採択件数 43 件） <p>②専門家によるビジネス相談会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決やビジネスプランづくり等ために必要な助言・指導が受けられる専門家によるビジネス相談会の開催（総合支庁単位で開催予定） <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○任意組織から企業的経営への発展を促す企業組合セミナーを開催（全県対象：9月） ○元気な女性・若者ビジネス応援事業の助成団体の課題解決に向け、専門家による助言等を行う各総合支庁単位のビジネス相談会を開催（最上：8月、村山：9月、置賜：12月、庄内：2月） <p>③「6次産業化支援マニュアル」の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化による地域内起業に向けた課題解決手法や許認可の取得、ビジネスプランづくりの参考となるマニュアルの作成 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マニュアル作成方針、記載項目等を設定する事務局会議を開催（4月～7月、3回） ○関連法令所管課へ協力を依頼（7月） ○編集会議を開催し、各総合支庁普及課職員がマニュアルを執筆（8月～） ○マニュアルの製本と指導機関・6次産業化志向者への配布。HP への掲載（3月）。 	<p>【H28目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業化支援件数： 100 件 <p>（累計）</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業化支援件数： 100 件（H28） 	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気な女性・若者ビジネス応援事業費 ・元気な地域づくり支援プロジェクト事業費 	

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ⑩6次産業・流通

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>元気な地域づくり支援プロジェクト【組替新規】</p> <p>○地域主体に地域資源をフル活用しながら、農林水産業を起点として地域活性化を目指す取組みを県内各地に展開</p> <p>【担当課】 農政企画課</p>	<p>①モデル地区でのケーススタディの取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディを踏まえ、事業推進上の課題や効果を評価・検証し、新たな成功事例が生まれる仕組みの検討・構築 ・県の各課横断で構成するタスクチームによる市町村や地域が主体となった取組みへの支援活動 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○支援対象地区の選定を進めるため、プロジェクト検討チーム会議を開催(4月) ○地域活性化に取り組む9地区(5市4町)を選定し、各々を支援するタスクチームを立ち上げ支援活動を実施(随時) ○選定地区の取組方針と課題等の情報共有を図るタスクチームリーダー会議を開催(7月) ○取組みの進捗状況を評価検証するプロジェクト戦略会議を開催(12月、3月) <p>②地域づくりの実践支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディを含め市町村や地域の実践活動において、地域の合意形成や計画づくりへの指導・助言活動を支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域づくりの話し合いや計画づくりを支援する地区を選定し、ワークショップを開催支援(8地区 随時) <p>③地域づくりを推進していくための人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での合意形成を図る有効な手段であるワークショップの実践手法などを習得するための地域づくり人材育成研修会の開催 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市町村、土地改良区、NPOの担当者を対象に、ワークショップの実践プログラムづくりや運営技術を学ぶ地域リーダー育成講座を開催(3月) 	<p>【H28目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディ実施地区数: 40地区(累計) <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディ実施地区数: 43地区(H28 累計) 	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気な地域づくり支援プロジェクト事業費 ・元気な女性・若者ビジネス応援事業費 	<p>農林業振興と農山村活性化プロジェクト戦略会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ⑩6次産業・流通

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>県産農産物等の販路拡大・ブランド力向上プロジェクト【組替新規】</p> <p>○H27策定の「県産農産物等流通推進戦略指針」に基づき、「やまがたブランド」としての県産農産物等全体のブランド力の向上と、大都市圏のほか地方中核都市圏における県産農産物等の流通ルートの開拓・拡大を推進</p> <p>【担当課】 6次産業推進課</p>	<p>①主要県産農産物等の日本一ブランド確立に向けた品目別戦略の構築と展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さくらんぼや「つや姫」、山形牛に続く日本一を目指すトップブランド有望品目の選定と生産から販売に至る戦略PJの検討、展開 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さくらんぼトップセールス・プロモーションを実施(6月) ○ラ・フランストップセールスを実施(10月) <p>②新たな販売・取引ルートの開拓とその定番商品化、継続取引の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルや量販店、企業の食堂など大口需要先での販路開拓・拡大に向けた「山形フェア」の開催 ・情報収集やマッチング・商談支援、食品卸売業等と連携した食の提案 ・首都圏での民間主導による新たな販売拠点の設置に向けた検討 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大手企業社員食堂において山形県フェアを開催(7月・3月) ○首都圏等のホテルにおいて山形フェアを開催(4月～3月) ○産地見学交流会を開催(9月・10月) ○おいしい山形商談会を開催(2月) <p>③農産物・加工食品等の地域間交流を通じた取扱拡大と物流ルートの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方中核都市(熊本・鹿児島等)での県産農産物等のPRの強化 ・直売所間の相互協力の構築による販路開拓と取扱品の拡大(ふるさと知事ネットワーク、南北交流、隣接県との連携等) <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと知事ネットワークによるさくらんぼの時期にあわせた相互交流販売を実施(2県)(6月・7月) 	<p>【H28目標】</p> <p>(1)東京都中央卸売市場における県産農産物の取扱高割合：野菜：1.4%、果実 5.8%</p> <p>(2)西日本の主要5市場における取扱金額 ：野菜：4.57億円 ：果実：32.03億円</p> <p>【現状】</p> <p>(1)野菜：1.3%(H28) 果実：5.7%(H28)</p> <p>(2)野菜：4.82億円(H27) 果実：31.16億円(H27)</p>	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物等流通促進事業費 ・農産物等流通戦略推進事業費 ・農産物等流通情報利活用促進事業費 ・6次産業化総合推進事業費 	<p>おいしい山形推進機構</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ⑩6次産業・流通

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>雪国山形伝統野菜振興プロジェクト【組替新規】</p> <p>○伝統野菜のもつ希少性や多様性を活かし、首都圏をターゲットに流通拡大を進めるとともに、漬物等の商品化と販売を行うことにより、伝統野菜の魅力とブランド力の向上を目指す。</p> <p>【担当課】 6次産業推進課</p>	<p>①首都圏の実需者を対象としたプロモーションの継続展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売目品(あさつき、山形赤根ほうれんそう 等)へのシンボルマーク貼付による消費者へのPRを実施 ・「食の至宝 雪国やまがた伝統野菜PR大使」による自身の店舗での宣伝 ・全国伝統野菜サミットに参加し、山形県の伝統野菜の展示・紹介を実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大手企業社員食堂(7月・3月)及び首都圏ホテル(随時)での山形フェアを活用した情報発信。 ○伝統野菜PR大使を対象にしたセミナーを実施(10月) ○全国伝統野菜サミット(金沢市)での情報発信(12月) <p>②県内伝統野菜提供店の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内飲食店等でのメニュー化の働きかけを実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「やまがた伝統野菜」提供店状況調査を実施(8月) ○伝統野菜PR大使を対象にしたセミナーを実施(10月)【再掲】 <p>③冬出し特産野菜の安定生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形赤根ほうれんそうの冬季安定生産のための実証ほの設置及び検討会の開催 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山形赤根ほうれんそう実証ほの設置(1か所[村山普及課]、作型拡大(播種晩限))及び検討会の開催(11月) ○おかひじきの立ち枯れ防止による安定生産と効率的な種子生産技術の現地への普及。 <p>④実需者の利用拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漬物加工事業者が行う新商品開発を支援するための求評の場を設定 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○やまがた農商工連携ファンドによる助成金交付事業を活用し、商品開発・求評を実施。 	<p>【H28目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)首都圏実需者との取引件数:40件/年 (2)県内の伝統野菜料理提供店:100店舗 (3)伝統野菜の生産量:6,642トン (4)漬物定番化商品の開発件数:8件 <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)53件/年(H28) (2)89店舗(H28) (3)約4,715トン(H27) (4)15件(H28) 	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の至宝雪国やまがた伝統野菜推進事業費 など 	

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ⑩6次産業・流通

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>県産農産物等輸出拡大プロジェクト【拡充】</p> <p>○国別・品目別に戦略的な海外市場開拓や輸出拡大方策を展開するとともに、生産者、流通事業者、輸出事業者等の連携による定番化に向けた取組みを強化し、県産農産物の輸出量や輸出先国の拡大を目指す</p> <p>【担当課】 6次産業推進課</p>	<p>①農産物等の新規輸出案件に関するオファー等に対する県国際経済振興機構の相談・支援機能の強化</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現地バイヤーとの輸出(米、加工品等)に関する調整を実施(台湾、ASEAN等)(8月) ○アメリカ(ハワイ)への継続輸出に向けた現地バイヤーとの調整を実施(10月) ○マレーシアへの農産加工品輸出に向けた現地バイヤーからの開取り調査を実施(2月) <p>②新たに輸出に取り組む事業者への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外輸出環境調査、テスト輸出、バイヤー招へい、ブランドPR、物流技術実証、海外販売促進活動、輸出専用の商品づくり <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県産農産物等輸出販路拡大・販売促進支援事業による支援を実施。 ・採択7件(新規3件、2年目1件、3年目3件)(7月～10月) <p>③海外の日本食レストラン等向けの県産農産物等の販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務用、ネット販売用における県産農産物等の求評(ASEAN、EU) <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ASEAN、EUバイヤーとの調整を実施(4月～) ○芋煮イベントにおいて農産加工品の求評を実施(ドイツ、オランダ)(9月) ○ネット販売を活用したりんごの求評を実施(オランダ)(12月) ○ショッピングモールにおいてりんご、西洋なし、ぶどうの求評を実施(シンガポール)(12月) ○日本食レストランにおいて農産加工品の求評を実施(マレーシア)(2月) <p>④「オール山形」体制による県産農産物の輸出拡大に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米、さくらんぼなど品目別輸出拡大チーム等の設置・運営 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チームメンバーからH27実績及びH28の取組みについて聞き取りを実施。 ○山形さくらんぼ世界一プロジェクト推進会議流通・販売部会を開催し、輸出拡大戦略を検討(6月) ○山形県産米輸出拡大チーム会議を開催し、H28の具体的な取組みについて協議(9月) <p>⑤ミラノ万博を契機としたEUへの輸出・交流拡大の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地レストラン等を活用した県産品等のPR ・外国語(英語、イタリア語)HPによるPR <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イタリアのバイヤー、県内関係者との調整、HP作成に向けた関係者との調整を実施(8月) ○現地レストランでのPRを実施するとともに(12月)、新HPの運営を開始(3月～) 	<p>【H28目標】 県産農産物の輸出数量 : 650トン</p> <p>【現状】 県産農産物の輸出数量 : 987トン(H27)</p>	<p>【ソフト】 ・県産農産物・食品輸出拡大強化事業費</p>	<p>県産米輸出拡大チーム</p> <p>山形さくらんぼ輸出拡大戦略会議</p> <p>山形さくらんぼ世界一プロジェクト推進会議流通・販売戦略部会</p>

新農林水産業元氣再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ⑪生産基盤

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>水田汎用化基盤強化プロジェクト【継続】</p> <p>○水田の排水改良等の基盤整備による畑作物の作付拡大 ○園芸産地の拡大と新産地の形成による農業所得の向上</p> <p>【担当課】 農村整備課</p>	<p>①水田汎用化の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 水田畑地化対策事業等の実施について、技術指導や販路確保に係る関係部局・団体に組織する農地有効活用推進会議において情報共有を行うとともに、現場ニーズ等の意見交換を行い、現場での関係部局・団体の連携の円滑化や普及活動を実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場ニーズの把握のため、現行制度に対する意見聞き取りを実施(7～8月) (山形市・村山市・最上町・舟形町・鮭川村・真室川町・川西町・長井市・飯豊町・酒田市・鶴岡市・庄内町各管内) 農地有効活用会議に向けた資料整理、情報収集(6～8月) 農地有効活用推進会議を開催(12月) <p>②園芸作物等の作付拡大を推進するための基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 営農(経営)計画に基づいたフォローアップの実施と作付定着への支援 収益性の高い園芸作物等への転換を図るために必要な水田の排水改良等を実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水田畑地化実施状況報告により、計画どおりの作付状況を確認(6月) 水田の排水改良工事 14 地区(県営 11 地区、団体営3地区)を実施。 園芸作物等の作付定着を促進するための研修会(4回)を開催(9月～) <p>③園芸産地の拡大と新産地形成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 園芸作物等の栽培実証ほの設置による栽培技術の習得促進 栽培技術の普及・定着のための研修会の開催や栽培実績等の成果の情報発信を実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、栽培技術の習得や作付拡大に向けて、4地区の栽培実証ほを設置(5月～3月)(宮地・塩井・広野・鎌田地区) 営農検討会を開催(8～3月) 実証ほ現地検討会、報告会を開催(7～3月)※上記4地区 	<p>【H28目標】 水田畑地化対策面積 (平成 23 年度からの累計) 3,900ha</p> <p>【現状】 水田畑地化対策面積 (平成 23 年度からの累計) (H28 まで):3,906ha</p>	<p>【ハード】 水田畑地化基盤強化対策事業費 (基盤整備)</p> <p>【ソフト】 水田畑地化基盤強化対策事業費 (小規模支援)</p>	<p>農地有効活用推進会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ⑪生産基盤

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>低コストに化に向けた基盤整備促進プロジェクト【継続】</p> <p>○トップランナーの育成に不可欠な低コスト生産を可能とする基盤整備 ○基盤整備を契機とした農地集積・集約化による担い手の経営規模拡大</p> <p>【主担当課】 農村整備課</p>	<p>①生産コスト削減に向けた農地集積・集約化、基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地集積・集約化を進め、規模拡大を図るため、水田ほ場の大区画化等の基盤整備などを実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○区画整理工事を予定している全 12 地区 (157.1ha) を整備。 <p>②農地中間管理事業との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地整備事業の計画段階から農地中間管理事業との連携を考慮した集積計画に対する合意形成を促進 ・農地整備事業の実施区域をすべて農地中間管理事業のモデル地区に指定 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成 28 年度実施地区 (29 地区) を農地中間管理事業のモデル地区に指定 (4月) ○担当者会議を開催 (7月) し、農地中間管理事業との連携・活用方法について説明。 ○やまがた農業支援センターと連携し、管内ごとに実証モデル地区を選定 (10 月) し実証支援チームによる地元の取組みを支援。 <p>③低コスト栽培技術の実証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大区画ほ場 (西郷北部地区 1.5ha、こうずく地区 1.0ha) における鉄コーティング湛水直播の実証試験を継続 ・大区画ほ場の低コスト化の検証・評価と他地区への普及・啓発活動の実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○庄内と置賜の2か所に設置した大区画ほ場での低コスト栽培技術と整備に係る実証試験の実施 (5月～9月) ○大区画ほ場の低コスト栽培技術の導入に有効な用水管理の自動化について観測データの検証を実施 (12～3月) 	<p>【H28目標】</p> <p>基盤整備を契機として販売金額 1,000 万円以上に達する水準の経営規模拡大を図った経営体数: 69 経営体</p> <p>【現状】</p> <p>上記の経営体数: (H28 実績): 70 経営体</p>	<p>【ハード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営体育成基盤整備事業費 <p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業経営高度化支援事業費 ・農業農村整備事業実施計画費 	

新農林水産業元氣再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ⑪生産基盤

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>農村インフラ機能保全プロジェクト【継続】</p> <p>○基幹的農業水利施設の効率的な更新と保全管理を図る長寿命化対策の推進 ○ため池・用排水施設等の整備改修の実施と、農地地すべり対策工事の実施</p> <p>【担当課】 農村整備課</p>	<p>①基幹的農業水利施設のライフサイクルコストを踏まえた機能保全計画を策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の劣化や機能保全等の調査を行う機能診断の実施 ・施設の長寿命化を図る保全対策工事の実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○機能診断(6地区)、保全計画(9地区)の発注及び業務着手。 ○保全対策工事(12地区)の発注及び工事着手。 <p>②揚水機場の長寿命化に併せた維持管理費低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転管理方法、機械的(インバータ)制御、受電契約変更の検討 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○維持管理費低減に向けた新たなポンプ運転管理方法の検討及び実施(2地区) <p>③災害の未然防止対策としてのため池や用排水施設の整備、耐震対策、減災対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ため池、用排水施設の改修・整備工事の実施 ・耐震点検の計画的な実施、ハザードマップの作成・公表 ・地すべり地区の対策工事及び概成地区の適正な管理の実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ため池、用排水施設の整備に向けた工事の発注及び工事着手(34地区) ○耐震点検業務の発注及び現地調査の実施(14か所) ○ハザードマップ作成業務の発注及び現地調査、氾濫区域図の作成(39か所) ○地すべり対策工事の発注及び工事着手(3地区) ○地すべり対策工事の概成に向けた東北農政局地質官との検討会を開催(1回) 	<p>【H28目標】</p> <p>基幹水利施設の保全対策</p> <p style="padding-left: 20px;">面積: 19,900ha</p> <p>ため池ハザードマップ作成</p> <p style="padding-left: 20px;">か所数: 100か所</p> <p>【現状】</p> <p>基幹水利施設の保全対策</p> <p style="padding-left: 20px;">面積(H28実績): 16,400ha</p> <p>ため池ハザードマップ作成</p> <p style="padding-left: 20px;">か所数(H28実績): 129か所</p>	<p>【ハード・ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県営かんがい排水事業費 ・基幹水利施設ストックマネジメント事業費 ・防災減災事業費 ・地すべり対策事業費 	

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑪生産基盤

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>中山間地域持続的農地保全推進プロジェクト 【新規】</p> <p>○傾斜地など条件不利地域の持続的な農地保全に向けて、地区住民を巻き込んで行う共同活動等の支援</p> <p>【主担当課】 農村計画課</p>	<p>①中山間地域等直接支払の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等の農業生産条件の不利益を一定程度補てんすることにより、農業生産活動を持続的に維持する5年間の活動を支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○未取組み集落を対象に取組み拡大に向けて制度をPR。 ○取組面積は前年度より356ha増加し、8,209haの農地の保全を支援。 <p>②政府の制度を補完する県独自の持続的な農地保全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協定を締結して農地を維持・保全するための共同の生産活動を3年間実施する取組みに対しての県独自支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市町村を訪問、集落にPRするなどして新規制度を周知。 ○尾花沢市など9市町村の17集落で、424haの農地保全の取組を支援。 <p>③中山間地域振興を考えるシンポジウム等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域の振興に向けたシンポジウムの開催 ・県内各地で活動する組織間の連携やネットワーク化を図る交流会の開催 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シンポジウムを開催(9月)し、農地保全に係る全国の事例や島根県の集落間連携の取組みの紹介、県内で活動する3組織の取組み報告等を実施(312名参加) ○5名のパネリストによるディスカッションを行い、5組織のメンバーも参加して意見を交換。他集落との連携や地域を守るマインドを持つ担い手確保の重要性などを共有。 <p>④中山間地域振興検討部会の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平場地域に対する中山間地域の農業の役割とあり方について、専門的な有識者をメンバーとする検討部会を開催。(現実に即した施策や事業の検討、提言) <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中山間地域振興検討部会の検討結果をもとに、持続的な農地保全を支援する県独自の対策(中山間地域等持続的農地保全支援事業)を創設し支援。 	<p>【H28目標】</p> <p>①農地保全協定面積： 8,280 ha</p> <p>②交流会参加活動組織： 10 組織</p> <p>【現状】</p> <p>①農地保全協定面積： (H28) 8,633 ha</p> <p>②交流会参加活動組織： (H28) 10 組織</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等直接支払制度費 ・中山間地域等持続的農地保全支援事業費 	<p>中山間地域振興検討部会</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ⑪生産基盤

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>再生可能エネルギー導入推進プロジェクト【継続】</p> <p>○農林水産業が持つ資源を活用した再生可能エネルギーの導入を促進する。</p> <p>【担当課】 農政企画課</p>	<p>【再エネ活用への助言等】 ・農山漁村再生可能エネルギー法の活用など環エネ部との連携による事業実施への助言や取組みの掘り起こし</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農林水産分野における再エネ活用を推進するため、各種セミナーや支援制度などを市町村へ情報提供。 ○「農山漁村再エネ法活用推進セミナー」(環エネ部主催、9月)開催への協力。 ○農山漁村再エネ法に基づく、新庄市の基本計画策定(1月)を支援。 ○農山漁村再エネ法に基づく、庄内町の設備整備計画策定(3月)を支援。 <p>【木質バイオマス発電】 ・県産木材の総合利用を目的とした、未利用間伐材などの有効活用の拡大</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマス燃料向け等の低質材(B・C材)の搬出を支援(43,621 m³) ・次年度の木質チップ製造施設整備等への支援に向けた事業計画を検討。 <p>【小水力発電】 ・農業水利施設の持つ水力エネルギーの効率的な活用により、土地改良施設の維持管理の低減</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小水力発電設備工事の発注(6地区)、設計委託の発注(1地区) ○『のがわデンデン』(野川1号、平成26年11月より供用開始)の売電収入により、農業水利施設の維持管理費を軽減。 <p>【ソーラーシェアリング】 ・日射量が少ない条件下でも生育する作物選定等に向けた実証試験とその評価</p> <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○太陽光パネルの下で、わらび(最上産地研究室)、みょうが(園芸試験場)の栽培実証を実施(作物の生育は良好だが、売電価格が大幅に下落したため、初期投資額が高額な現状では経営的メリットがないことが判明) 	<p>【H28目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①木質バイオマス燃料 生産量: 8万トン(H28) ②小水力発電施設による発電量: 1,400kW(H28) ③ソーラーシェアリングの実証試験の評価検証(H28まで) <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①木質バイオマス燃料 生産量: 3.4万トン(H27年度) ②小水力発電施設による発電量: 1,400kW(H28年度実績) ③ソーラーシェアリングの実証試験の評価検証: 実施済(現状では経営メリットなし) 	<ul style="list-style-type: none"> ①次世代林業基盤づくり 交付金事業費 ②県営地域用水環境整備 事業費 ③農業と太陽光発電両立 実証事業費 	

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ⑪生産基盤

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>小水力発電活用農村活性化プロジェクト【継続】</p> <p>○農業水利施設を活用した小水力発電導入により、土地改良施設の維持管理費を軽減</p> <p>○防犯灯などへの電源供給や非常用電源確保等の取組を実施し、農業振興・地域活性化を促進</p> <p>【主担当課】 農村計画課</p>	<p>①土地改良施設の維持管理費軽減を目的とした小水力発電施設整備を実施</p> <p>・目標達成に向けた計画的な小水力発電の整備を推進…7地区(新庄地区他)</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○小水力発電設備工事の発注(6地区)</p> <p>○小水力発電設備に係る設計委託の発注(1地区)</p> <p>②農業振興や地域活性化を目的としたマイクロ発電施設の実証</p> <p>・防犯灯などへの電源供給や非常用電源の確保等、農家や地域のアイデアを活かし、小規模な水力発電を幅広い利活用を図ろうとするモデル団体の実証経費への支援(最上地域)(1団体)</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○マイクロ発電の実証を行うモデル団体を募集し、応募のあった最上地域の団体が9月中旬から11月中旬まで、農業用水路にマイクロ発電機を設置、運用。</p> <p>○ホームページへの掲載や区報を通じマイクロ発電の利活用をPR(9月中旬～)</p> <p>○応募団体事務所内にマイクロ発電機とPR看板を移設し、来客者にPR(11月中旬～)</p>	<p>【H28目標】 農業水利施設を活用した小水力発電の整備 ・発電量: 1,400kW</p> <p>【現状】 農業水利施設を活用した小水力発電の整備 ・発電量(H28実績): 1,400kW</p>	<p>【ハード】 ・県営地域用水環境整備事業費</p> <p>【ソフト】 ・地域企画調整推進費 (地域が発信する小水力発電利活用モデル事業)</p>	

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別：⑫その他

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>鳥獣被害防止対策プロジェクト【継続】</p> <p>○市町村が総合的に行う鳥獣被害防止対策を支援 ○広域連携及び地域ぐるみで行う有害鳥獣被害対策実施に向けた総合的な支援 ○より充実した研修会実施による地域の実態に応じた指導者の養成</p> <p>【担当課】 園芸農業推進課</p>	<p>①「鳥獣被害防止対策プロジェクト会議」の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野生鳥獣による農作物被害の低減を図るため、総合的な被害防止対策について検討 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成27年度野生鳥獣による農作物被害状況調査(8/4 プレスリリース) ○市町村鳥獣被害対策単独事業調査、電気柵設置状況調査(8月末集約) <p>②鳥獣被害防止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気柵設置や捕獲、追払いなど市町村が総合的に行う鳥獣被害防止対策を支援 ・農作物被害の専門的知識と技術を備え、地域で被害対策を指導できる人材の養成 ・市町村が連携して広域的に取り組む被害対策や、地域が主体となって鳥獣被害対策に取り組むモデル地区への支援 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「鳥獣被害防止総合対策交付金(国庫)」による電気柵設置や捕獲、追払いへの補助支援(14市町) ○「鳥獣被害軽減モデル事業(県単)」による電気柵設置への補助支援(16市町) ○鳥獣被害対策指導者養成研修会の実施(4回:5/20、6/15、7/21、8/4) ○地域ぐるみの鳥獣被害防止対策の重点支援地区での研修会等の実施(設置2回:天童市二子沢、鶴岡市熊出上) ○クマ農作物被害防止対策のための啓発チラシの配布(6/14、8/19) 	<p>【H28目標】 被害防止計画作成市町村: 25市町村</p> <p>【現状】 被害防止計画作成市町村: 31市町村(H28)</p>	<p>【ハード・ソフト】 ・有害鳥獣被害防止対策推進事業費</p>	<p>鳥獣被害防止対策プロジェクト会議</p>

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ⑫その他

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>農業災害対策強化プロジェクト【継続】</p> <p>○技術対策など、迅速・確実な情報提供等による農作物被害の防止・軽減 ○農業共済への加入促進等による経営安定</p> <p>【担当課】 農政企画課 団体検査指導室</p>	<p>①自然災害による農作物被害の防止・軽減に向けた市町村、農業団体（JAグループ、農業共済団体等）等との連携強化 ・事前対策等の農業者への迅速かつ確実な周知方法の検討、実施</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○さくらんぼの生育が早い「山形県農業気象協議会と当面の技術対策会議」を前倒しで開催し、防霜対策を徹底（4月） ○毎月1回の「当面の技術対策」や気象や生育状況を踏まえて「米づくり技術情報」や「いいものならせるさくらんぼ便り」などを適宜発行。 ○大型で強い台風10号の県内への接近に当たっては、農業技術普及課が35市町村と17農協を直接訪問し、技術対策を提供するとともに、生産者が対策を確実に実施出来るよう周知を依頼。また、あぐりんお知らせメールを活用し、直接生産者に対し技術対策情報を提供（8月）</p> <p>・災害発生時における損害防止事業等を活用した緊急支援策の検討</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○1月からの大雪を受け、被害の集計や農作物・施設の雪害対策の内容を検討し、新年度予算で災害対策事業の実施を決定。 ○上記事業と併せ、農業被害に係る資金需要に備え、被災農業者への利子補給の実施を決定。</p> <p>②農業共済への加入促進 ・生産力維持に向けて、核となる大規模農家等への共済制度の普及啓発 ・戸別訪問等の加入促進活動による農業共済加入率の向上</p> <p>【主な取組み実績】</p> <p>○12月からの果樹共済加入受付に向けて、加入促進の進め方に係る山形県農業共済組合連合会との情報交換、意見交換会を実施（9月） ○生産組織、農協、市町村、農業共済団体等が会した果樹共済加入推進協議会における、加入率拡大方策等についての協議を実施（11月） ○生産力維持を図るため、総合支庁農業技術普及課普及指導員による、農業共済加入の啓発を実施（通年） ○広報誌「農業技術普及課だより」に果樹共済の加入促進記事を掲載（1月）</p>	<p>【H28目標】 ・モデル地区での重点被害エリアマップ作成と活用（1市町村） ・果樹共済の加入率の向上</p> <p>【現状】 ・果樹（収穫）共済加入率（面積ベース） H27:14.3%</p>	<p>【ハード】 ・農作物等災害対策費 ・農林漁業災害対策費</p>	

新農林水産業元気再生戦略 県域重点プロジェクトの取組み実績

分野別: ⑫その他

プロジェクト名	H28取組みの実績	目標	主な推進事業予算	推進組織・会議
<p>農業情報発信力強化プロジェクト【継続】</p> <p>○農業者や消費者に向けた農業情報の充実強化 ○多様なメディアを活用した情報発信</p> <p>【担当課】 農業技術環境課</p>	<p>①農業者の情報技術の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業者を対象とした ICT利活用研修会の開催 ・農業高校等への情報技術の利用に向けた出前授業の実施 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○6つの農業高校で計 221 人を対象に出前授業を実施。(12～1月) <p>②農業情報の充実強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出拡大に向けた県産農産物の外国語版紹介記事の発信 ・若手女性農業者の活動紹介や家庭向け野菜づくり情報コーナーの新設 ・農業イベント情報の充実 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あぐりに家庭向け野菜づくり情報コーナーを開設(8月) ○外国語版紹介記事(おいしい山形 HP)を、あぐりにリンク掲載(12月) ○若手女性農業者の事例集をあぐりに掲載(1月) ○家庭菜園向け野菜づくり情報コーナーへ掲載品目を追加(10月、3月) <p>③多様なメディアの積極活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞やラジオ等のメディアを積極的に活用し、農業関係情報を幅広く発信 <p>【主な取組み実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○YBC ラジオ「農業一ロメモ」を活用して、農作業事故防止、病虫害防除、農業施策情報、各種イベント情報等について情報発信(4～3月、計 261 件) ○SNS(あぐりんフェイスブック)への投稿(4～3月、計 431 件) 	<p>【H28目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あぐりん PV(PC サイト): 600 万 PV <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あぐりん PV(PC サイト): 839 万 PV(H28) 	<p>【ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまがたアグリネット運営事業費 	<p>やまがたアグリネット運営会議(同作業部会)</p>